

匠家
必携

早割新書

田中國城編

下

小倉文庫

イ 16

874

3

60

55

50

45

40

35

門 110
號 872
卷 3

田中國城著

匠家 必携

早割新書

大販賣

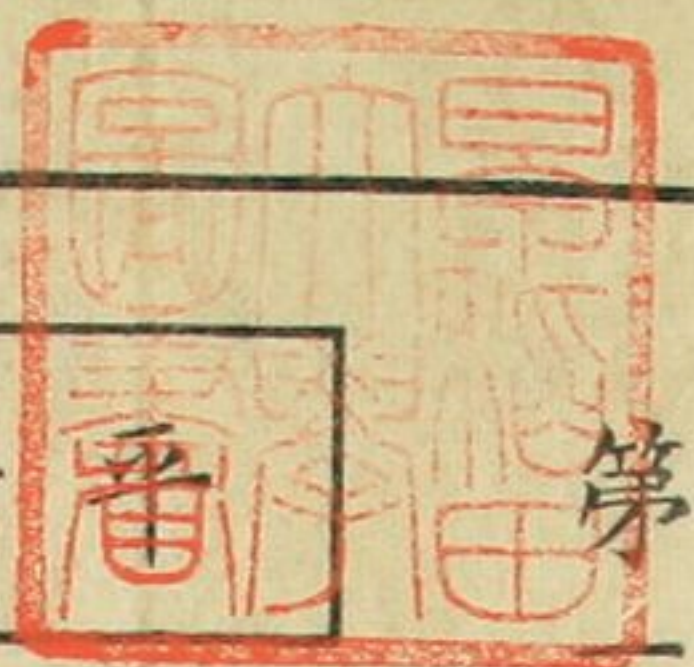
京東

須原屋茂兵衛

昭和二十七年
六月二十一日
受入



第 法 尺 金 使



此法ハ長短形角ヲ正方形ニ尺金ニテ出ス法
假リニ長サ四尺巾壹尺ノ者アリ是レヲ正
ニナセバ何程ノ角ナルヤ

答 貳 尺 角

長四尺巾貳尺ノ者アリ是レヲ正四角ニナセバ何程
ノ角ナルヤ

答 貳 尺 八 寸 貳 分 七 厘

長四尺巾三尺ノモノアリ是レヲ四角ニナセバ何程
ノ角ナルヤ

答 三 尺 四 寸 六 分 四 厘

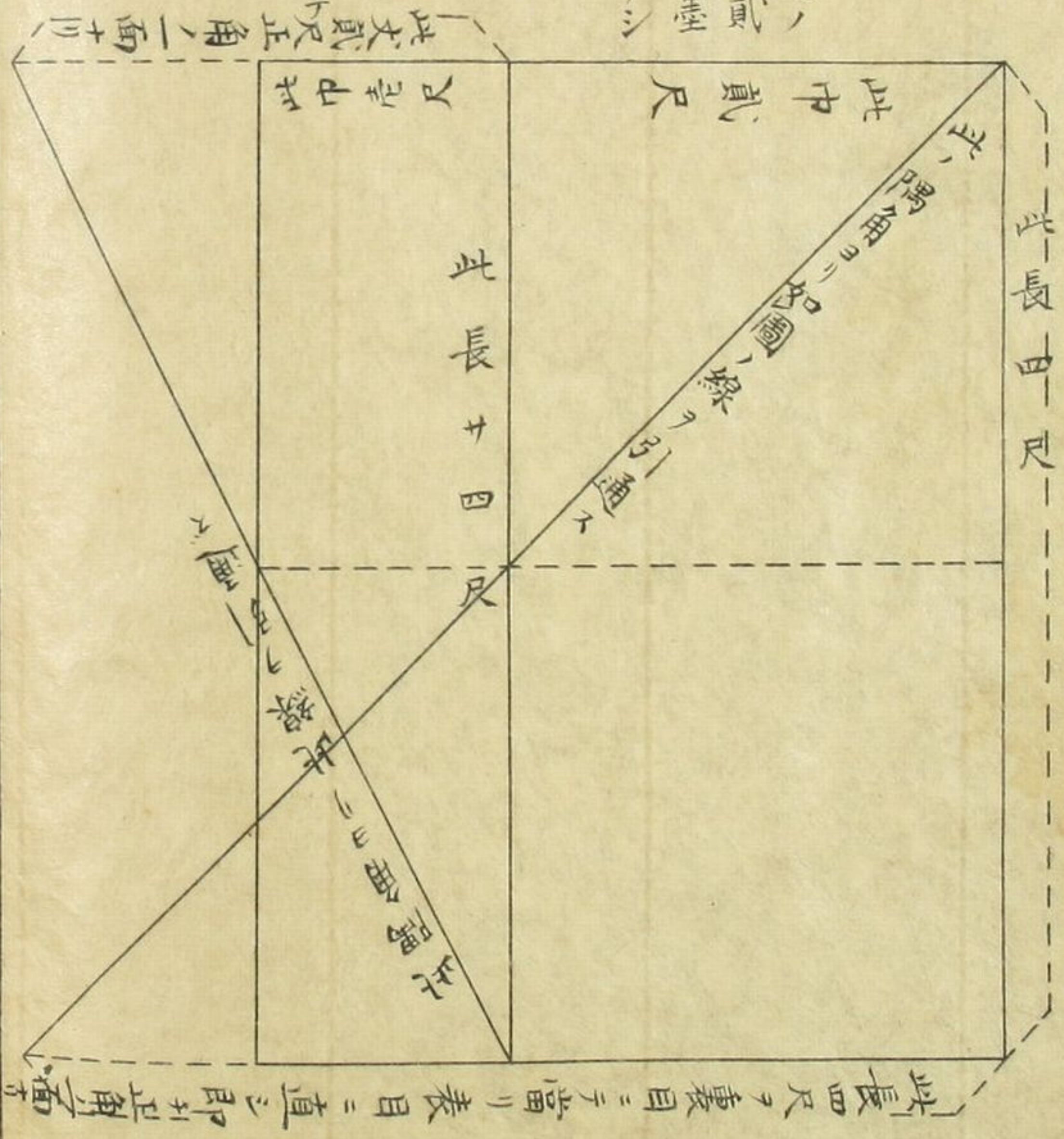
此ノ尺金ノ使用法ハ左ノ圖ニ解ス

五定公講記

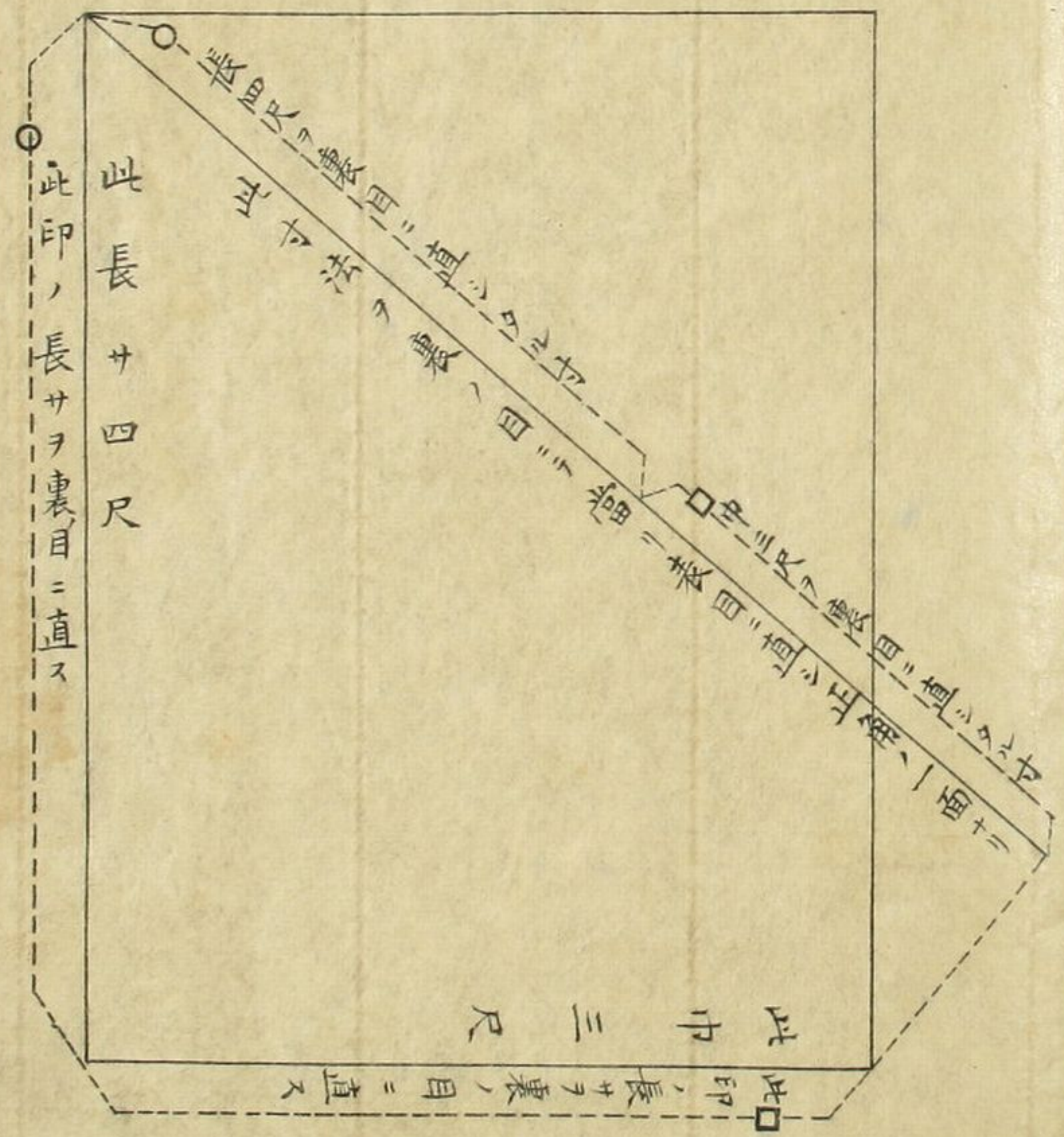
下ノ卷一

其貳 圖解

仮リ長四尺中貳尺ノモノ
 アリ是レヲ正角ニ直セバ
 尺八寸貳分七厘トナル此墨
 ヲ出スニハ下ノ圖ノ如クナシ
 其寸ヲ得ルベシ
 又長四尺中壹尺モノ
 アリ是レヲ正角ニ直セバ
 二尺角トナル此ノ墨ヲ
 出スニハ下ノ圖ノ如クナシ
 其寸ヲ得ル可シ
 猶ホ詳細ハ口傳



如ク圖ノ長サ四尺中三尺
 モノアリ是レヲ正四角ニナ
 ラスニハ長四尺ヲ裏ノ目
 ニテアタリ表目ニ是レ直シ中三
 尺ヲ裏ノ目ニ當リ表目
 ニ直シ合セタル寸ヲ又
 裏ノ目ニテアタリ表
 目ニ直セバ三尺四寸六
 分四厘トナル是レ即チ
 正角ノ壹面ナリ
 餘ハ此ノ理ニ基ツキ
 考フベシ

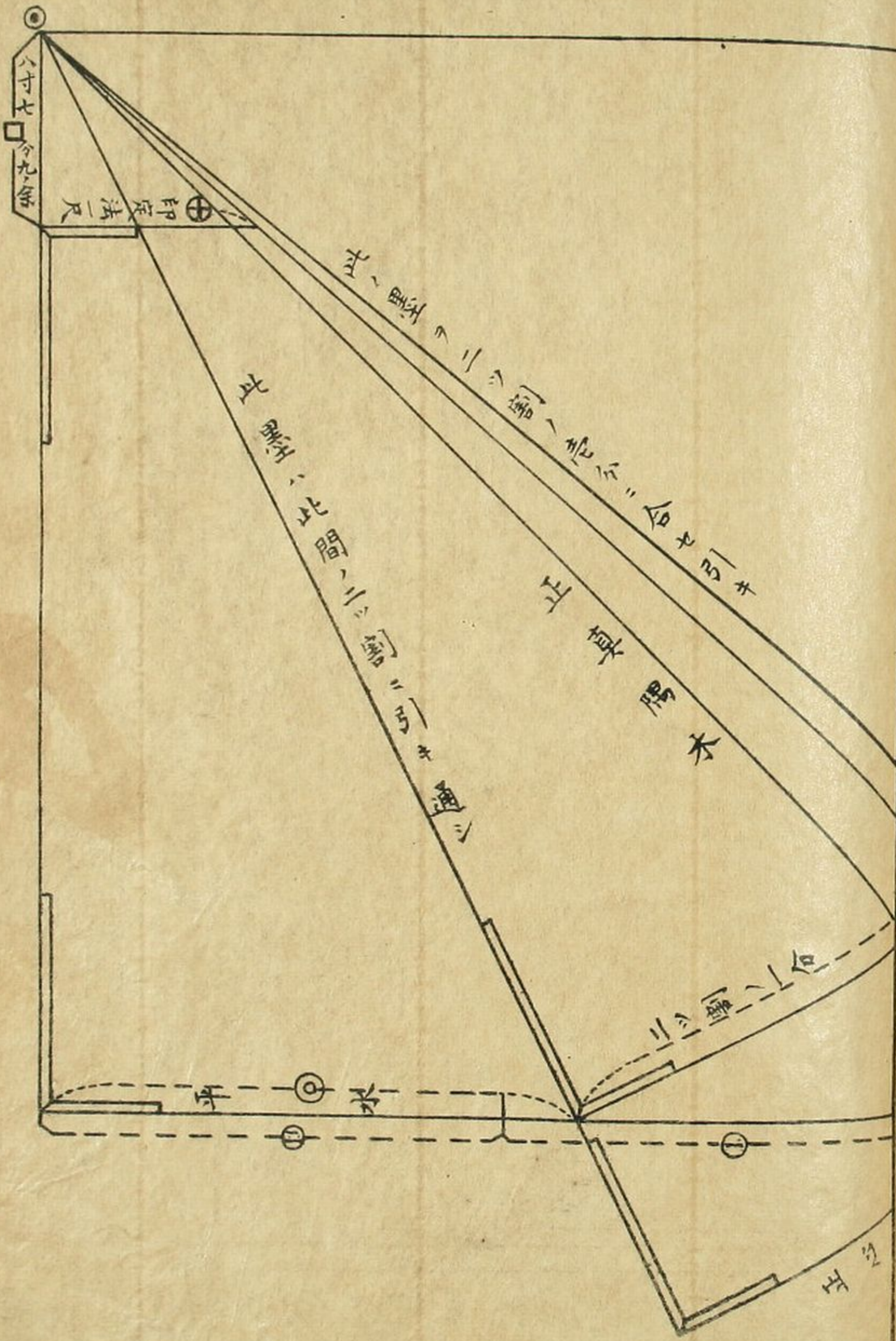
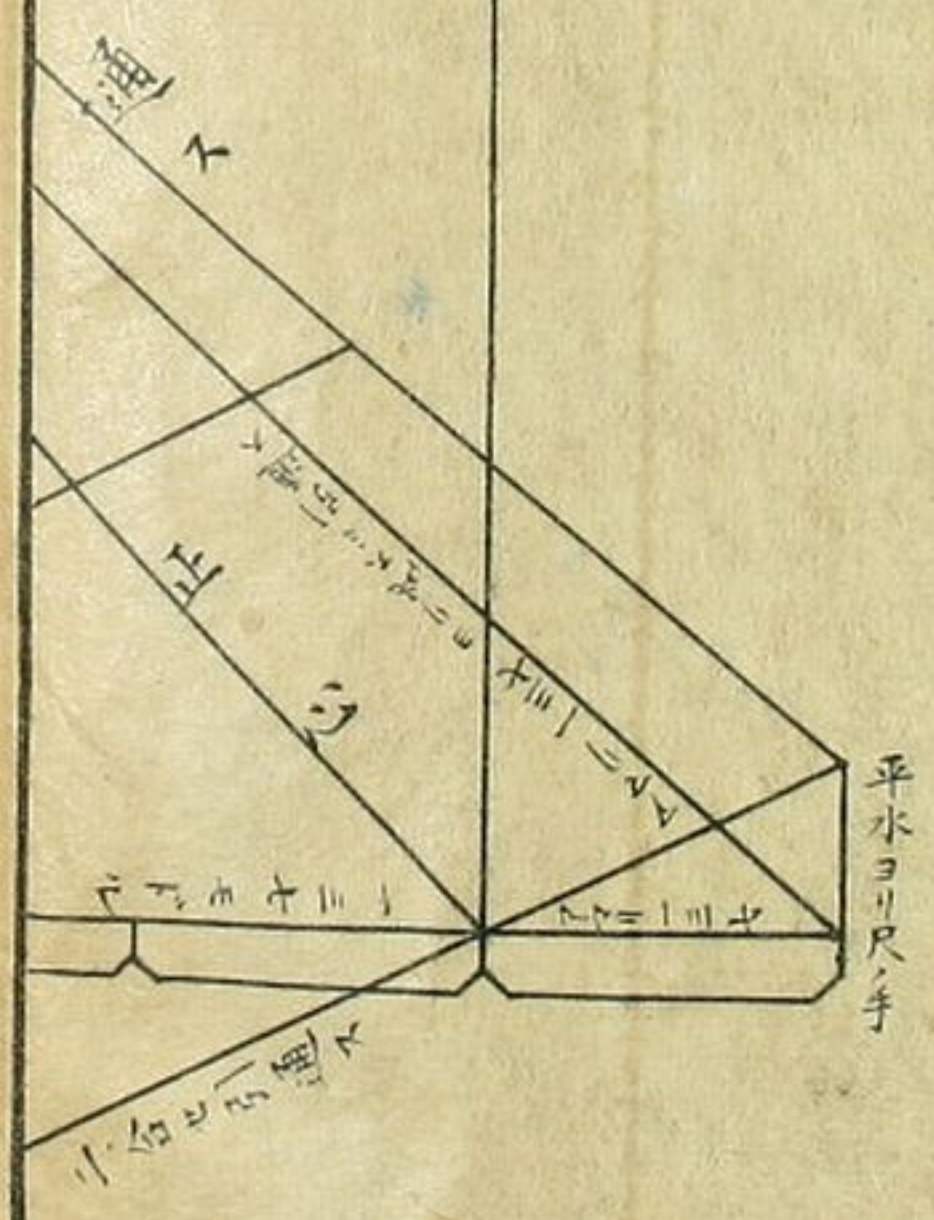
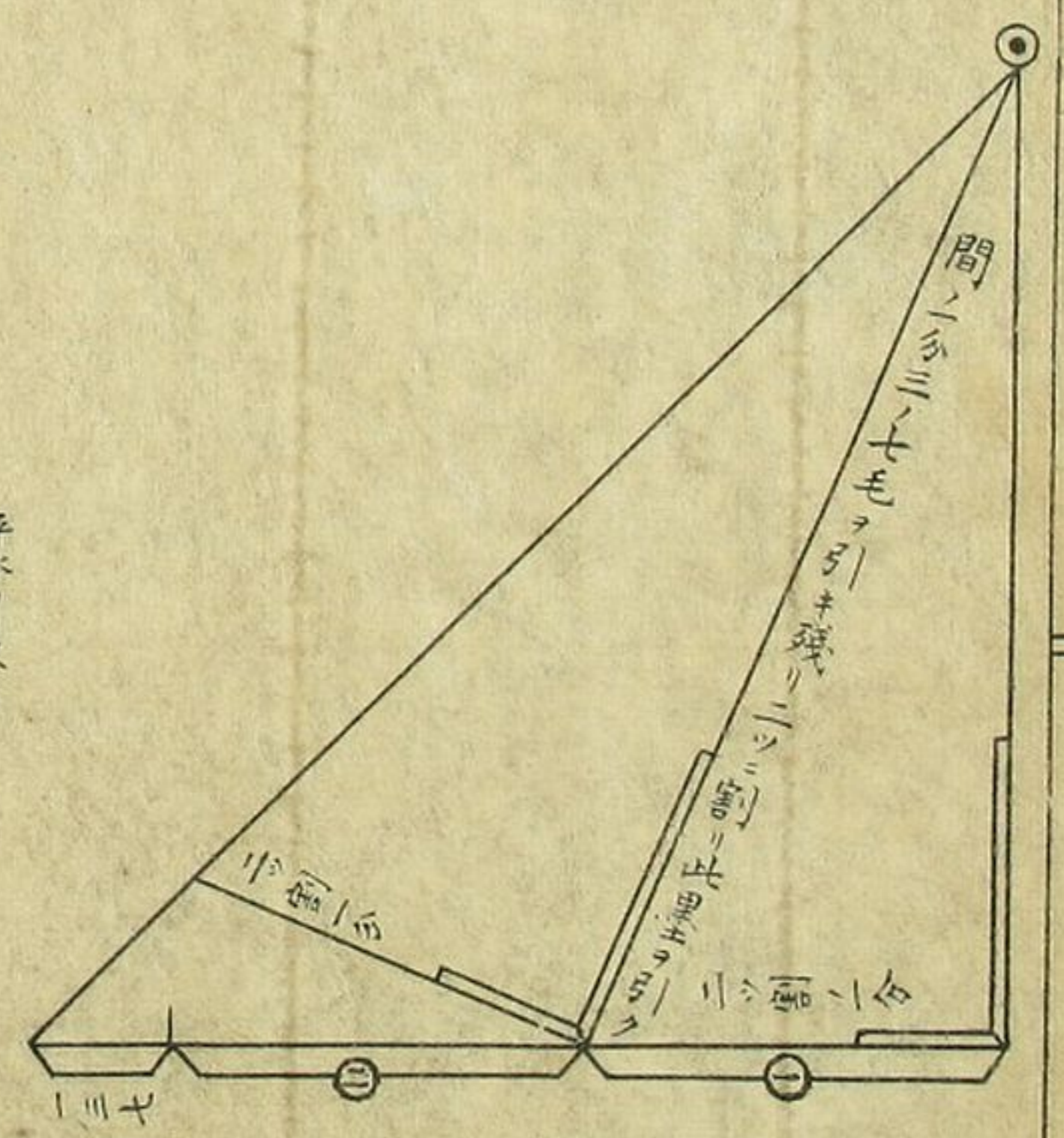


緑側扇樞伏地割

扇樞木ヲ割附ルニハ惣間ノ内ヨリ
一分三厘七毛ヲ引キ残りヲ何本ニテモ其時
ノ樞木數ニ割リ其一分ヲ用ユ

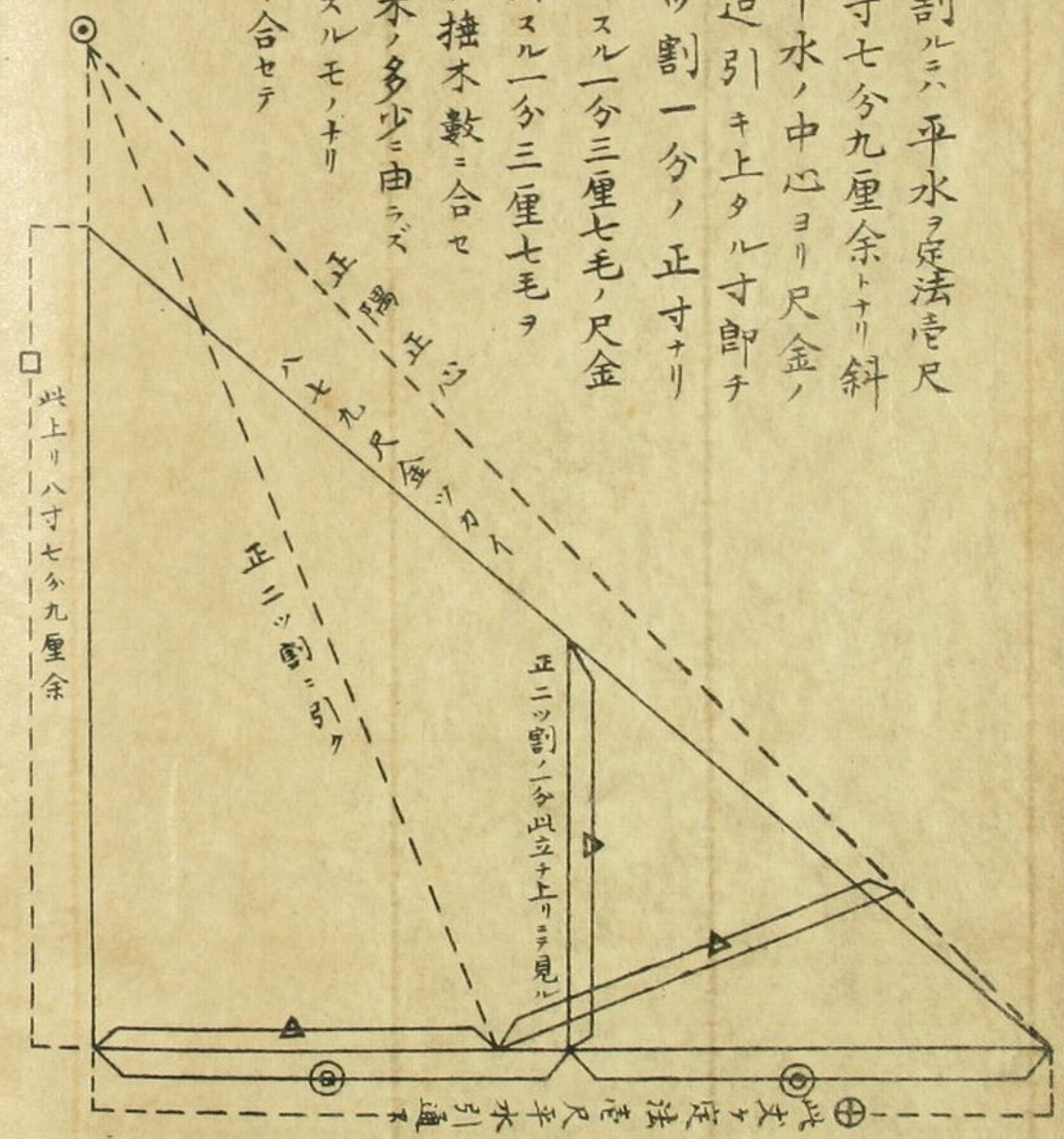
其一分三厘七毛ヲ見ルニハ如ク圖ノ
尺金ヲ使ヘバ知レ得ル者也

第貳



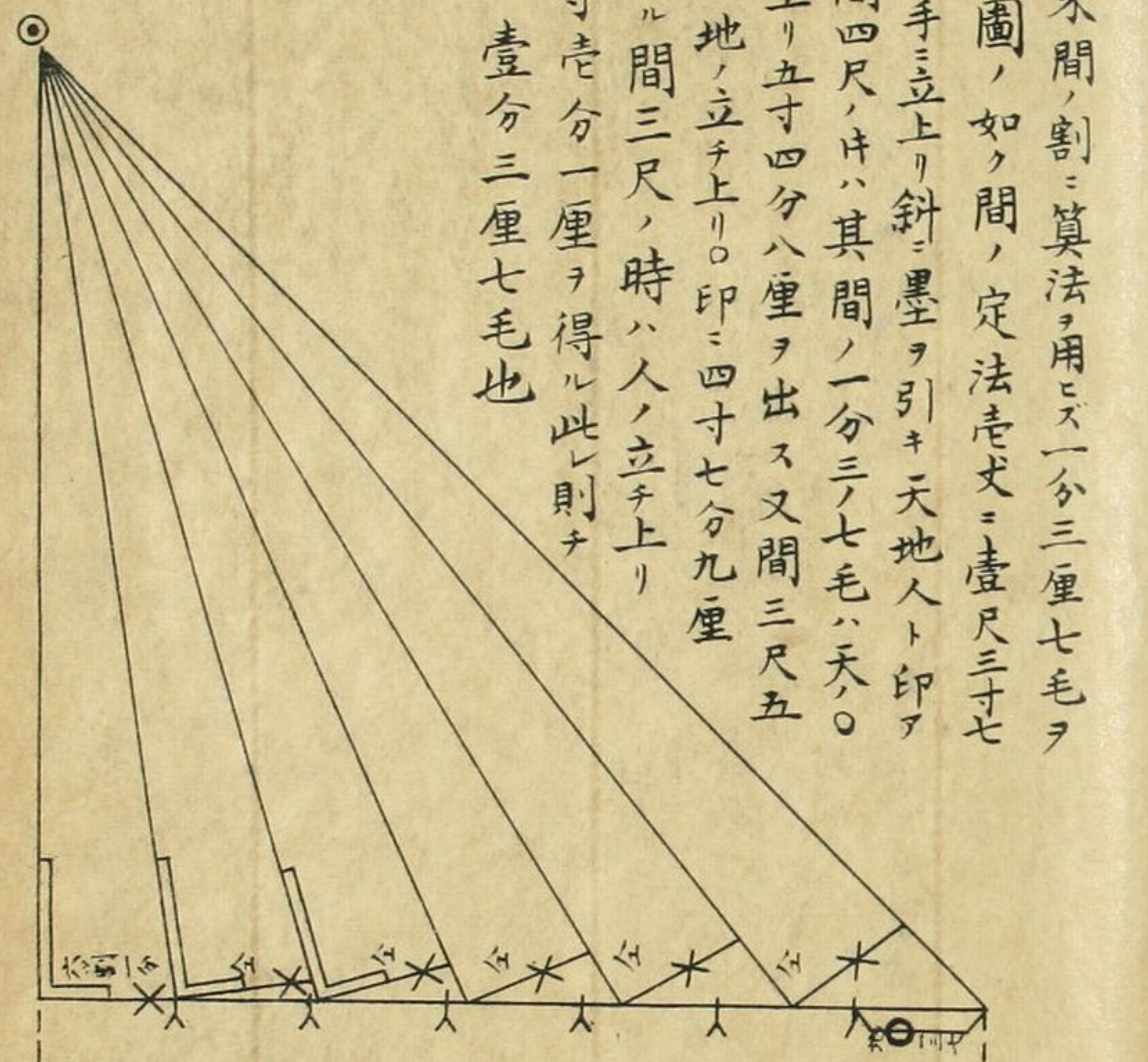
其二

此間ヲニツ割ルニ平水ヲ定法壹尺
ト定メ立水八寸七分九厘余トナリ斜
ノ線ヲ引キ平水ノ中心ヨリ尺金ノ
手ニ斜墨迄引キ上タル寸即チ
間ニ對スルニツ割一分ノ正寸ナリ
是レ前圖ニ對スル一分三厘七毛ノ尺金
ツカイ故間ニ對スル一分三厘七毛ヲ
引キ残りヲ時ノ榑木數ニ合セ
是レヲ割レハ榑木ノ多少ニ由ラズ
悉ク割り出ズルモノナリ
前圖ノ合ヒ印ト合セテ
見ルベシ



其三

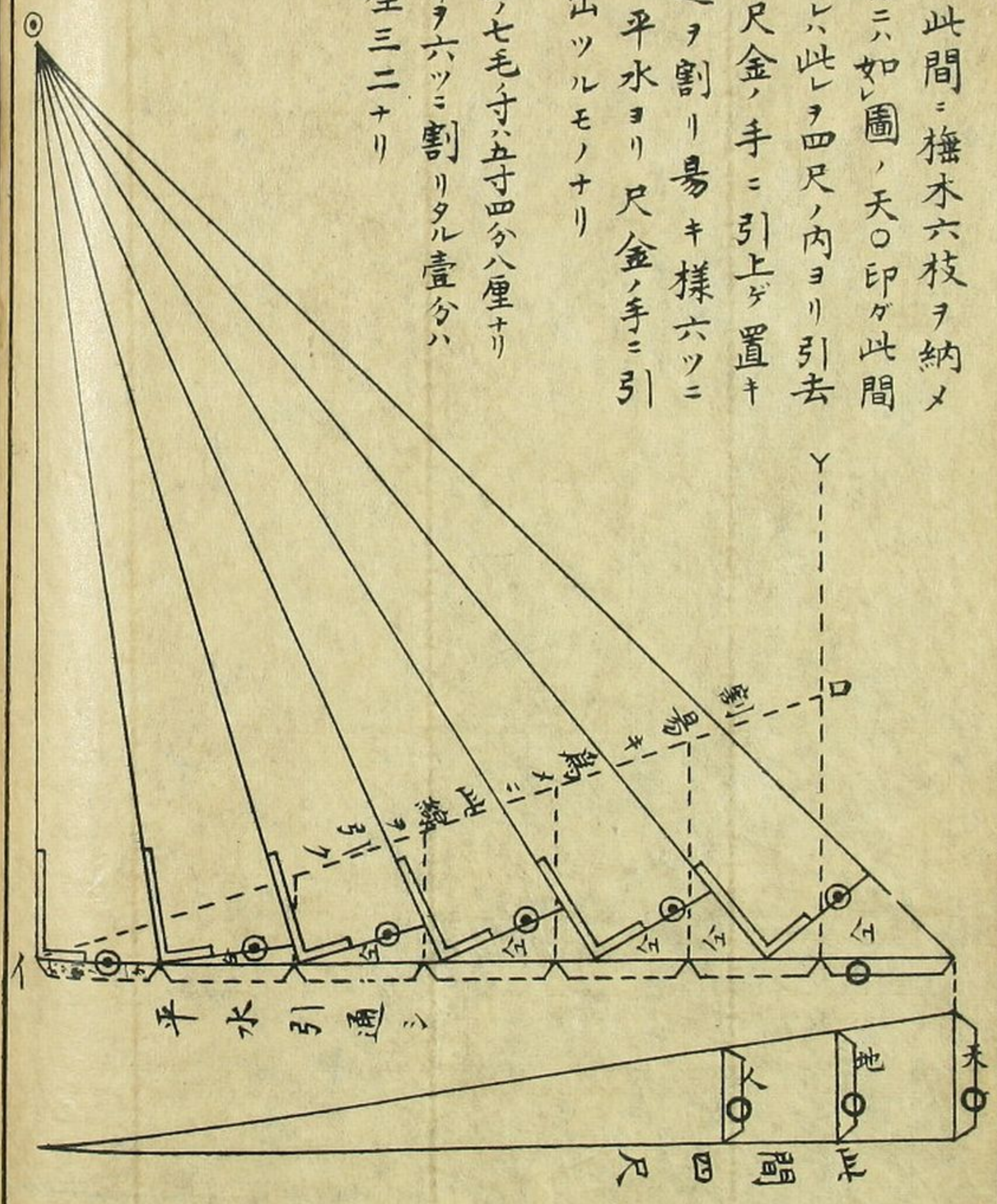
扇榑木間ノ割ニ算法ヲ用ヒ一分三厘七毛ヲ
見ルニ六圖ノ如ク間ノ定法壹丈ニ壹尺三寸七
分ヲ尺ノ手ニ立上リ斜ニ墨ヲ引キ天地人ト印ア
ル如ク間四尺ノ片ハ其間ノ一分三厘七毛ハ天ノ
印立チ上リ五寸四分八厘ヲ出ス又間三尺五
寸ノ片ハ地ノ立チ上リ印ニ四寸七分九厘
五ト出ル間三尺ノ時ハ人ノ立チ上リ
○印四寸壹分一厘ヲ得ル此レ則チ
其間ノ壹分三厘七毛也



天	○印	尺	四	寸	壹	分	一	厘
地	○印	尺	三	寸	七	分	九	厘
人	○印	尺	三	寸	七	分	三	厘
天	○印	尺	二	寸	四	分	八	厘
地	○印	尺	二	寸	四	分	八	厘
人	○印	尺	二	寸	四	分	八	厘

仮リ四尺間アリ此間ニ榑木六枝ヲ納メ
 其一分ノ割ヲ見ルニ如圖ノ天〇印ガ此間
 ノ壹分三厘七毛ナレ此レヲ四尺ノ内ヨリ引去
 リ残リヲ平水ヨリ尺金ノ手ニ引上ゲ置キ
 ①ヨリ②ニ至ル迄ヲ割リ易キ様六ツニ
 割リ其壹分ヲ平水ヨリ尺金ノ手ニ引
 ケバ間ノ壹分出ツルモノナリ
 此間ニ對スル壹分ニ七毛寸五寸四分八厘ナリ
 是レヲ引キ去リ残リヲ六ツニ割リタル壹分ハ
 即チ五寸七分五厘三二ナリ

其四

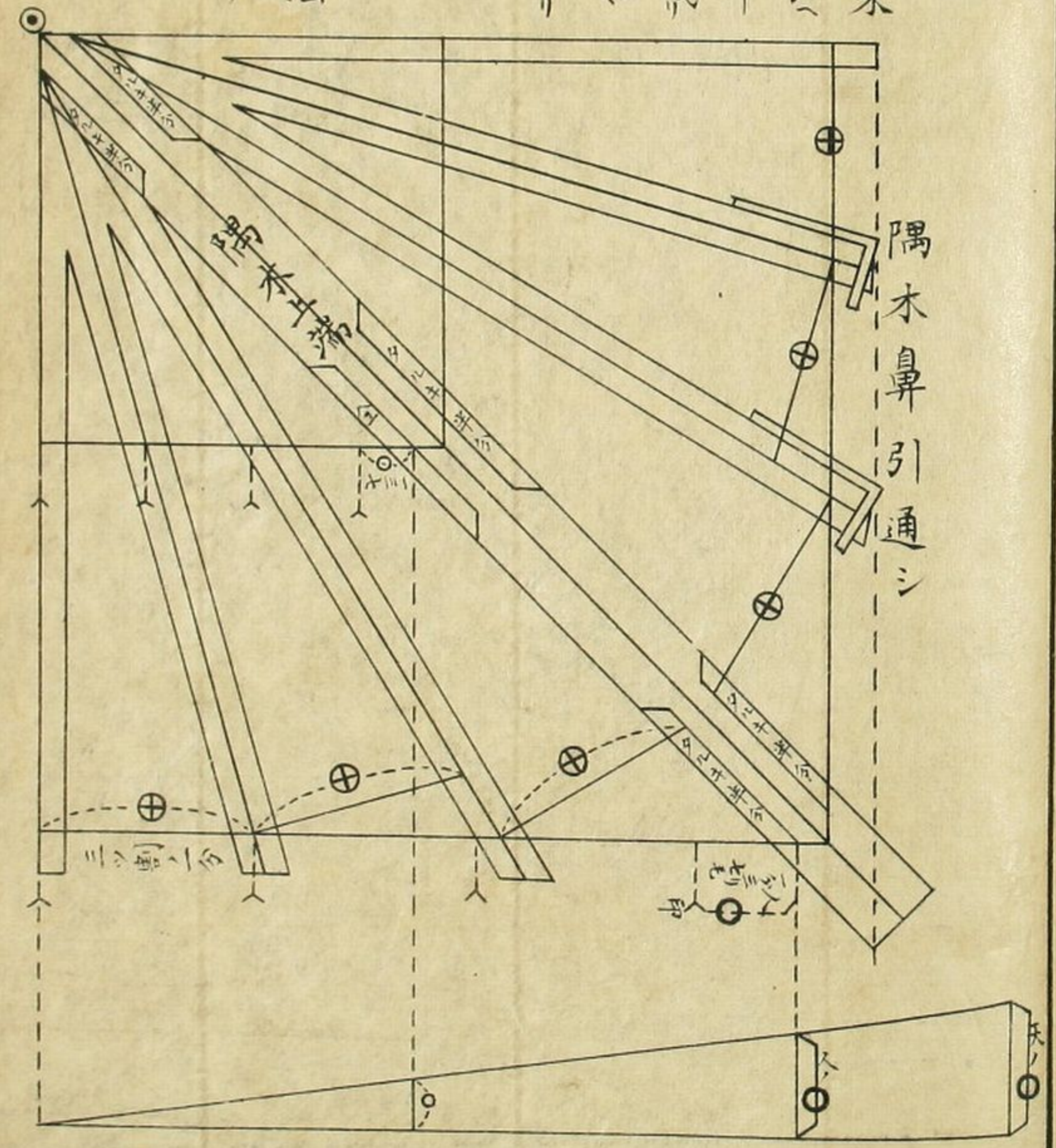


隅木ノ大小ニ由テ隅木
 面ヨリ榑木半分ヲ加
 間ノ中心ヨリ其間ヲ斗
 リ一割三分七厘ヲ引キ残リ
 ヲ榑木數ニ割ルニ如
 圖ナシ其一分ヲ得ルナリ

附言

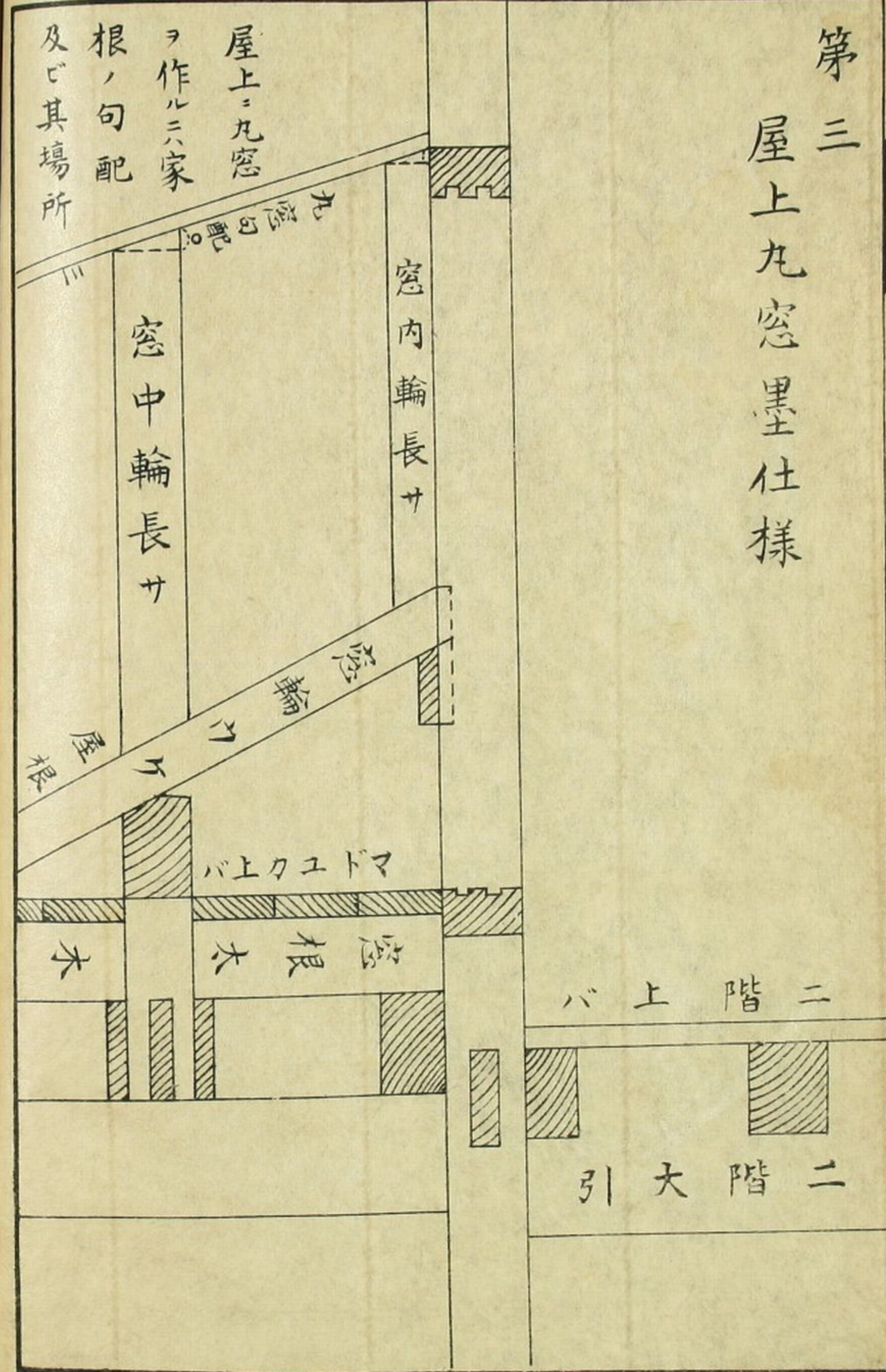
扇裡ニ付テハ種々用法
 アリトモ早割法ノ一端ヲ
 示スノミ

其五

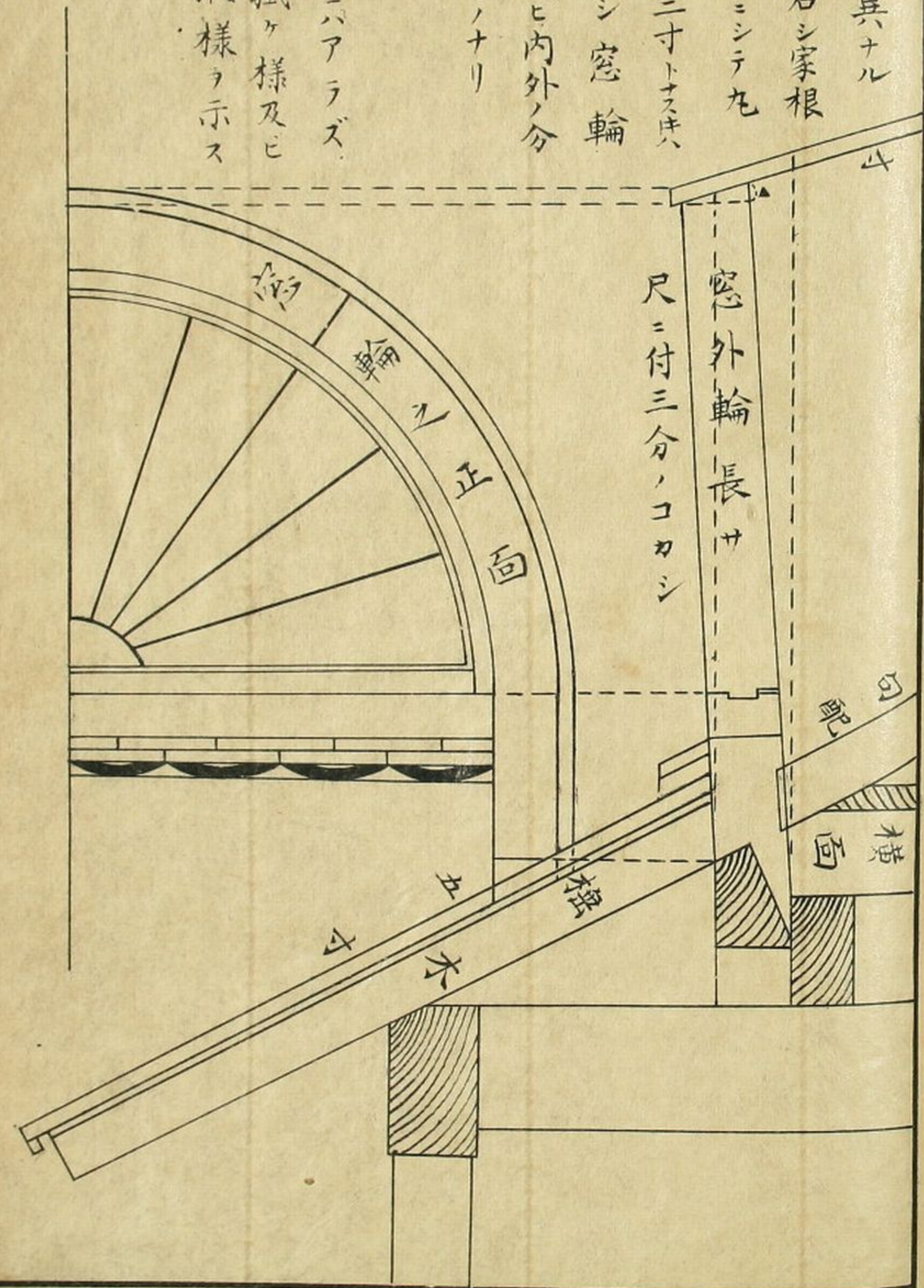


第三
屋上丸窓墨仕様

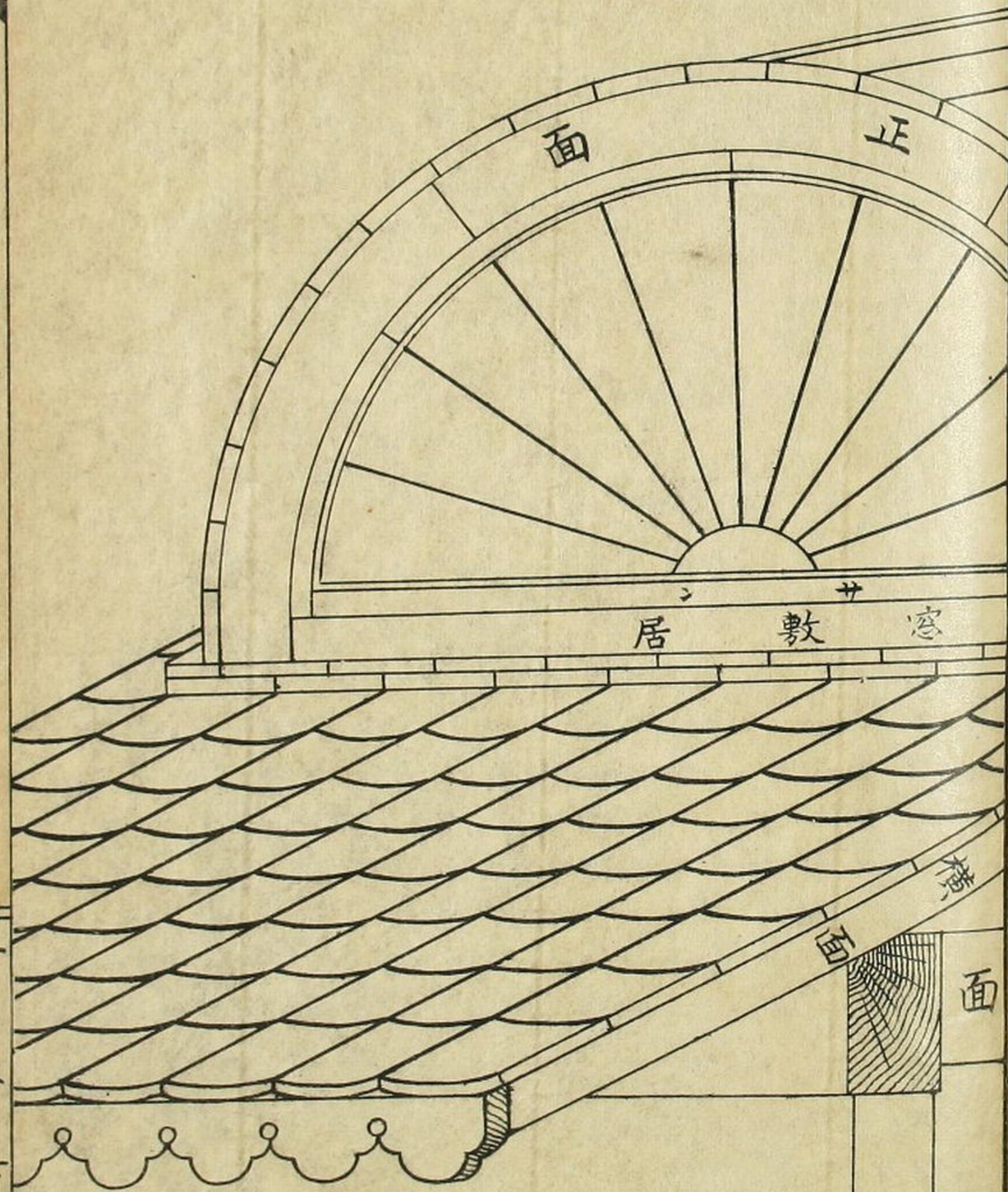
屋上丸窓
ヲ作ルニ家
根ノ句配
及ビ其場所



ニ依リテ異ナル
ト虫モ若シ家根
句配五寸ニシテ丸
窓句配三寸トスルハ
圖ノ如クナシ窓輪
ノ句配及ヒ内外ノ分
ハ出ツルモノナリ
附言
是ハ正寸ニハアラズ
只ダ分ノ掛ケ様及ヒ
句配ノ取様ヲ示ス
ノミ



其 貳

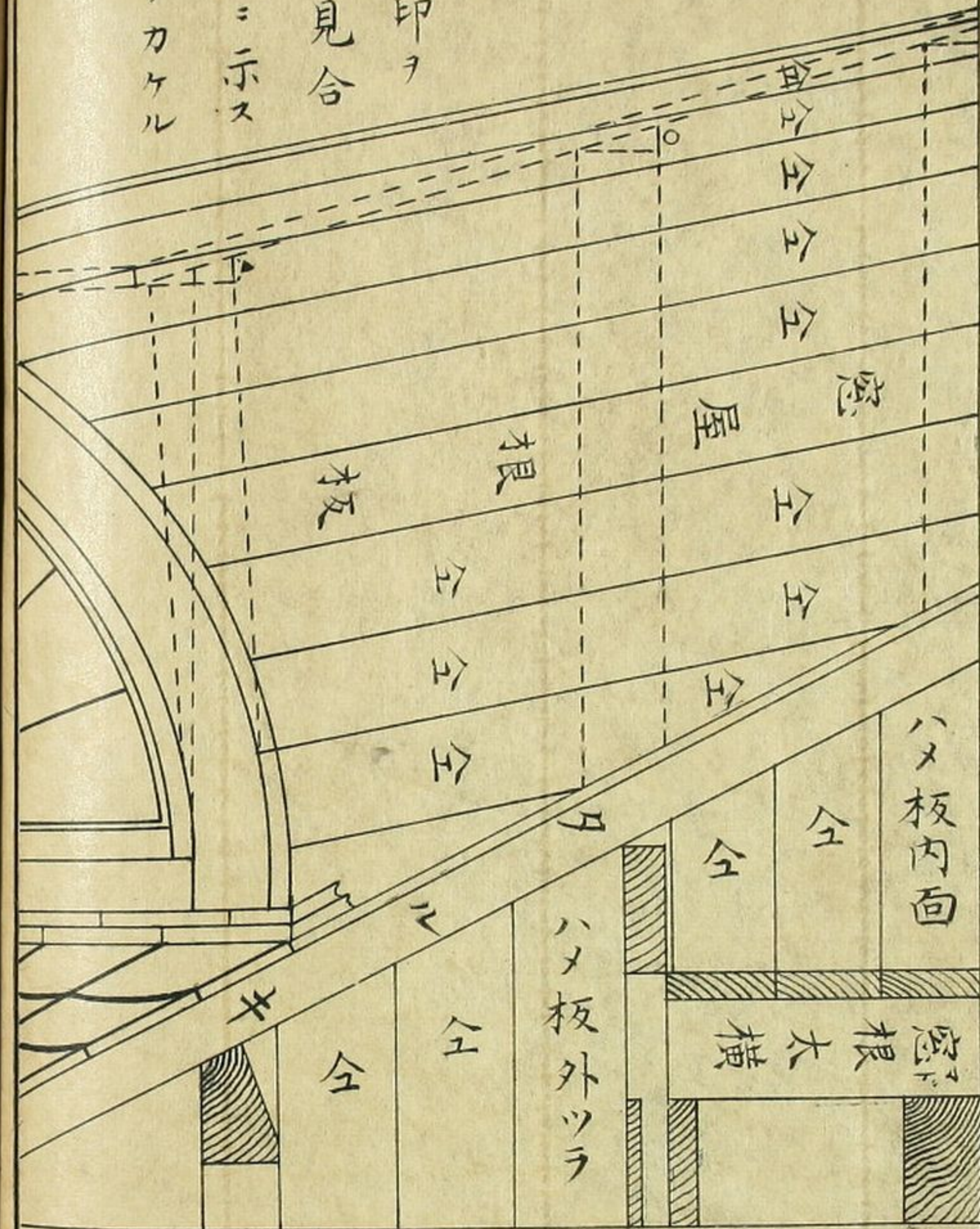


匠家必携早刻所書

下ノ卷

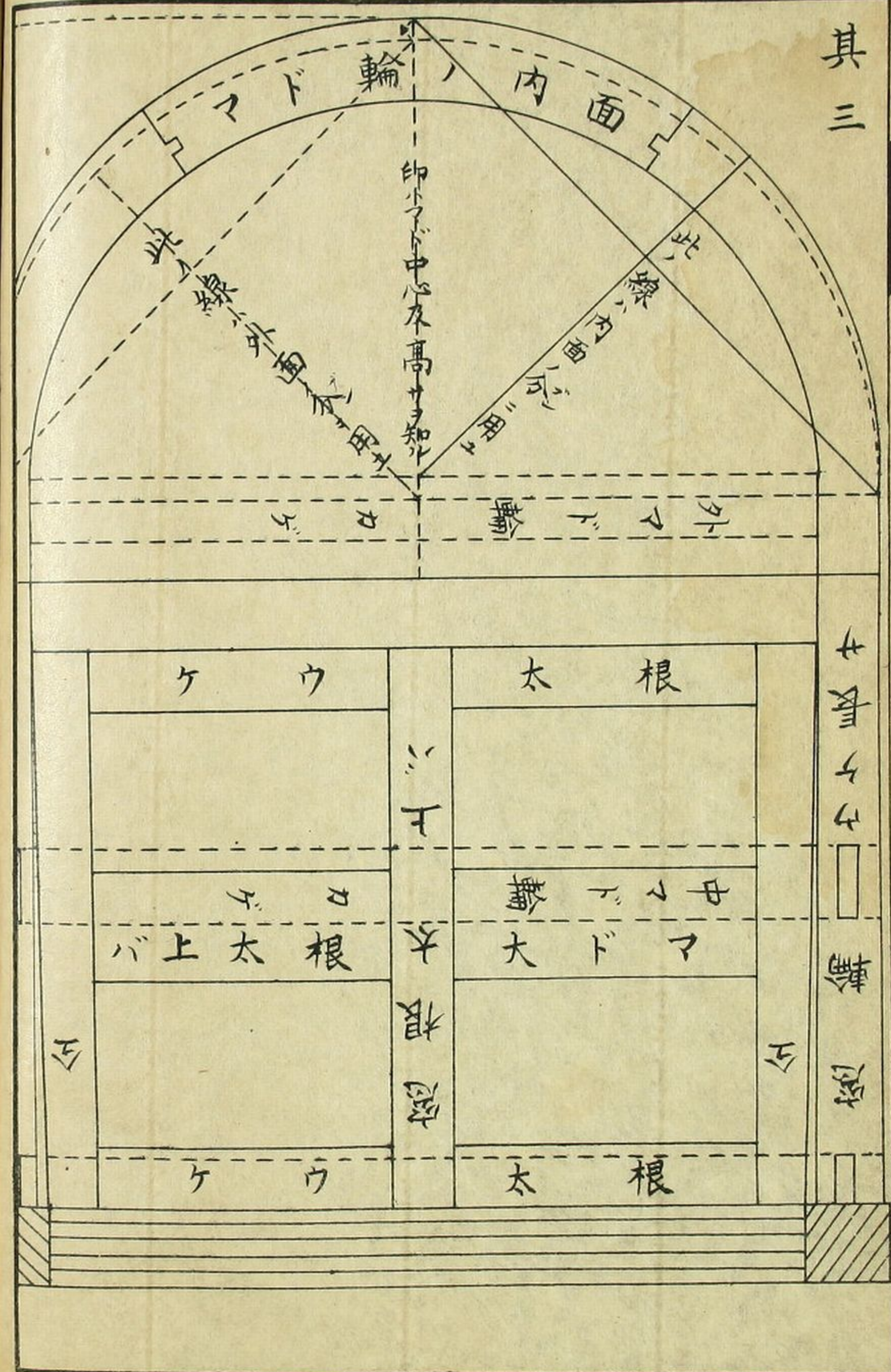
七

此印ヲ
能ク見合
セ尤ニ示ス
分ヲカケル
事



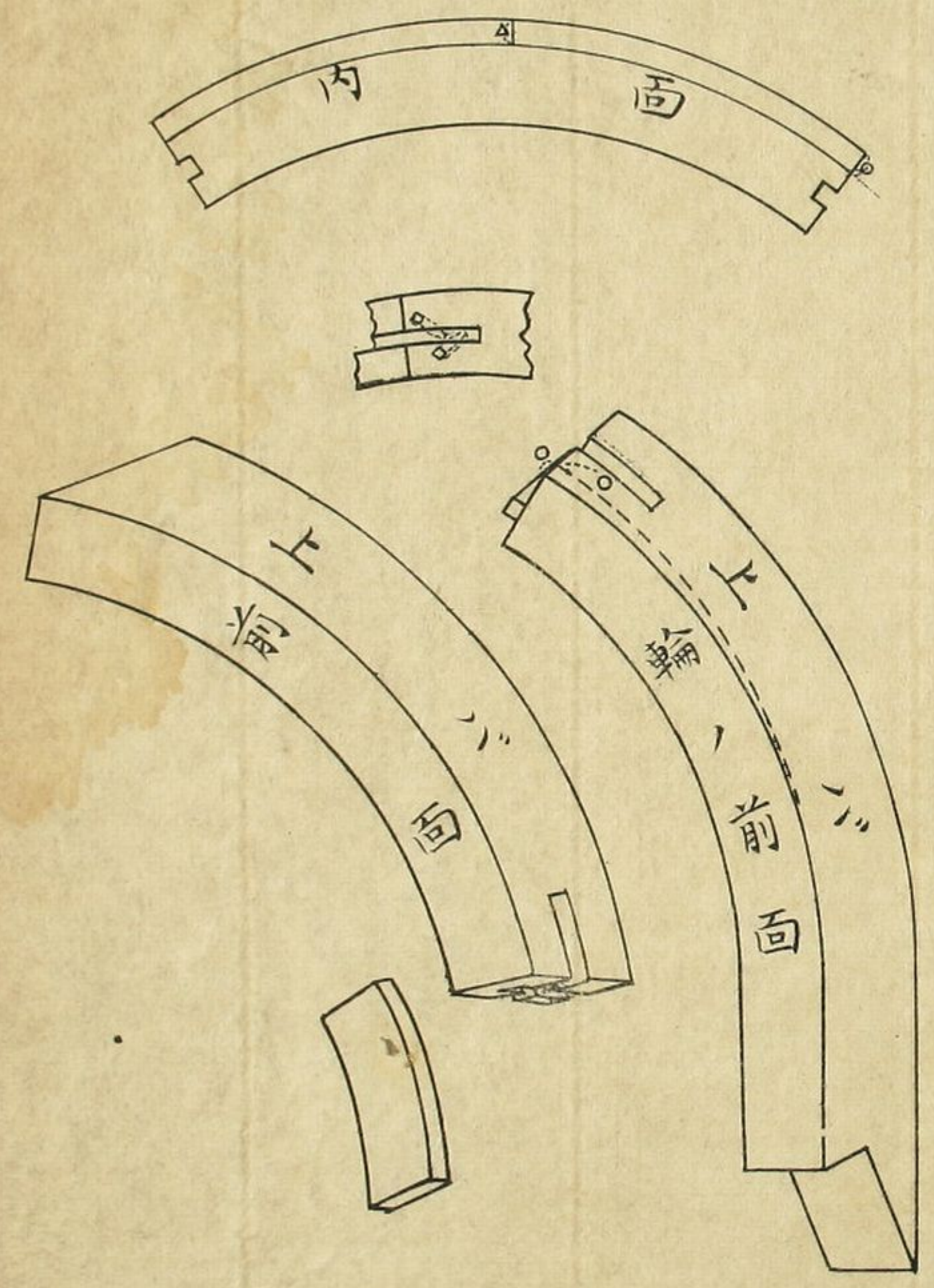
下 屋 ハ リ 横

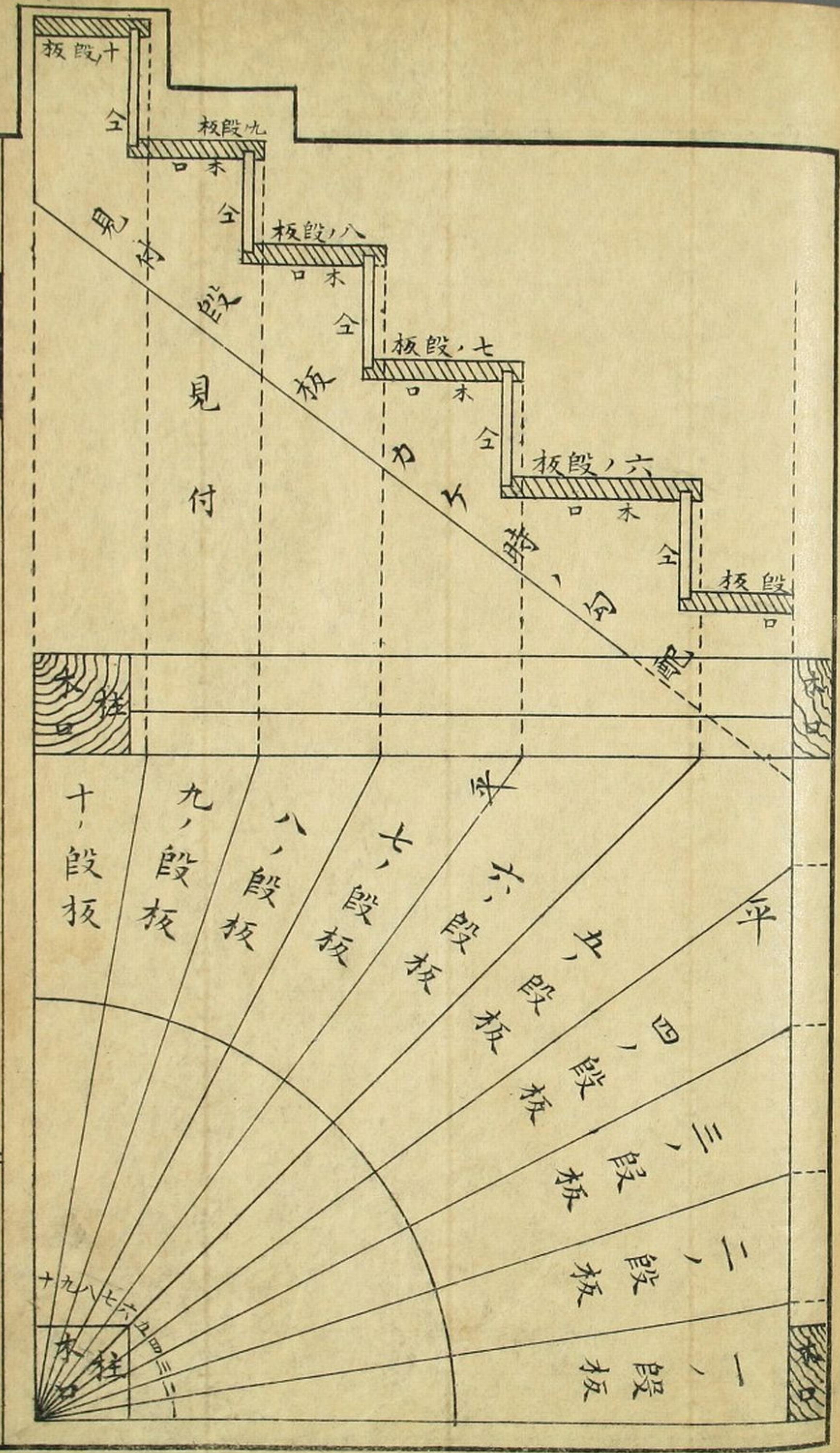
匠家必携早刻所書



附言

丸窓ノ仕方ハ其
場所及ビ好ニ由リ
種々アリト云モ是
ハ只其仕方ノ豫
メヲ圖スルノミ





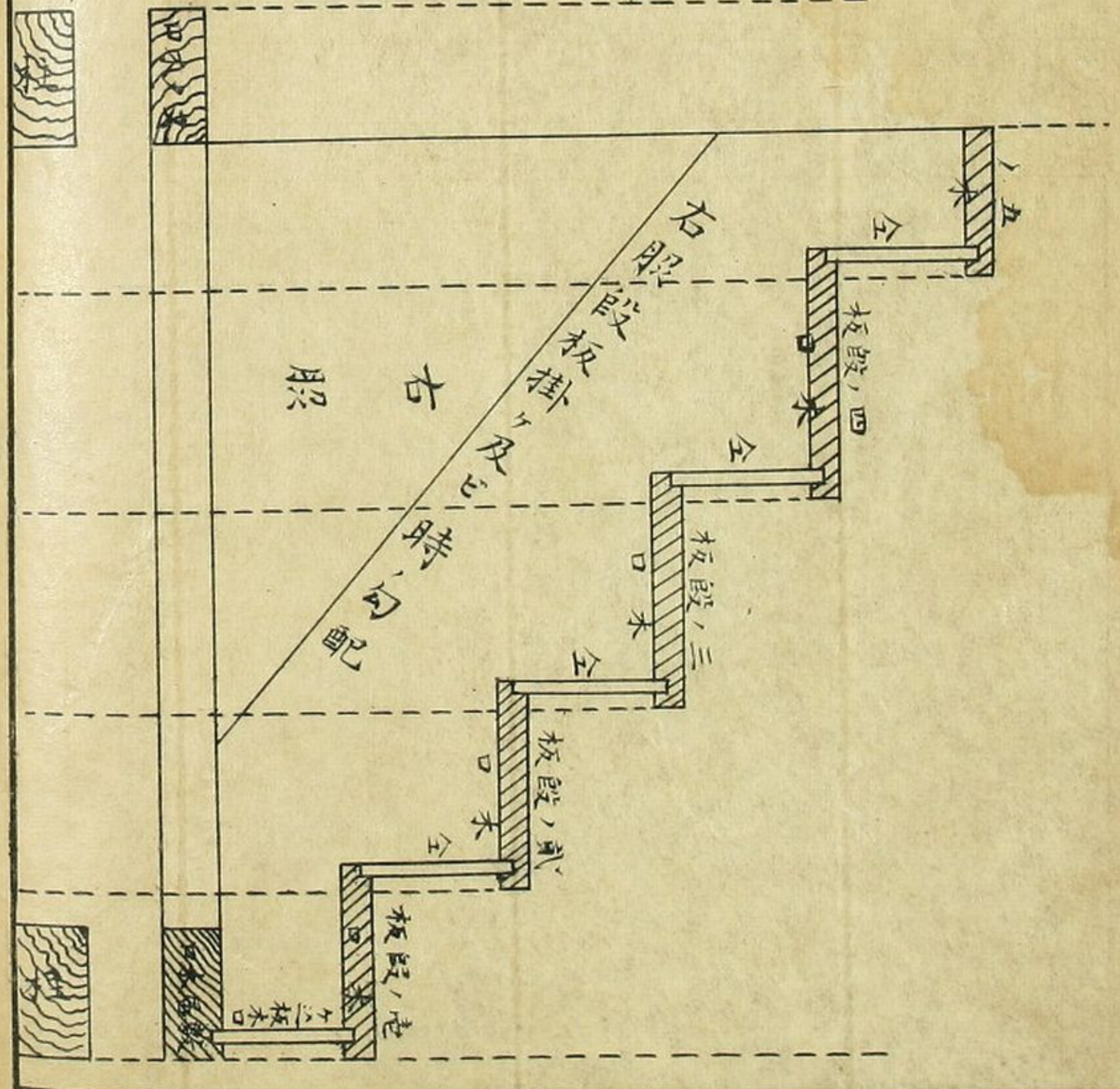
正家公書見川新書

下ノ卷 九

廻階段墨仕様

第四

廻り階段割ノ墨ヲ
ナスニハ圖ノ如ク柱ノ
外角ヨリ分テカケ分
ニ合シテ板割ヲナシ
順ニ板巾ヲ見ルナリ
又板巾ヲ板掛ニ移
スニハ見付及右照ニ
引キ分ケ段敷及
ビ段ノ高サニ合セ段
板掛ケノ句配ヲ引キ
平ヨリ尺ノ手ニ上リ
段板ヲ移スベシ



正家公書見川新書

其貳

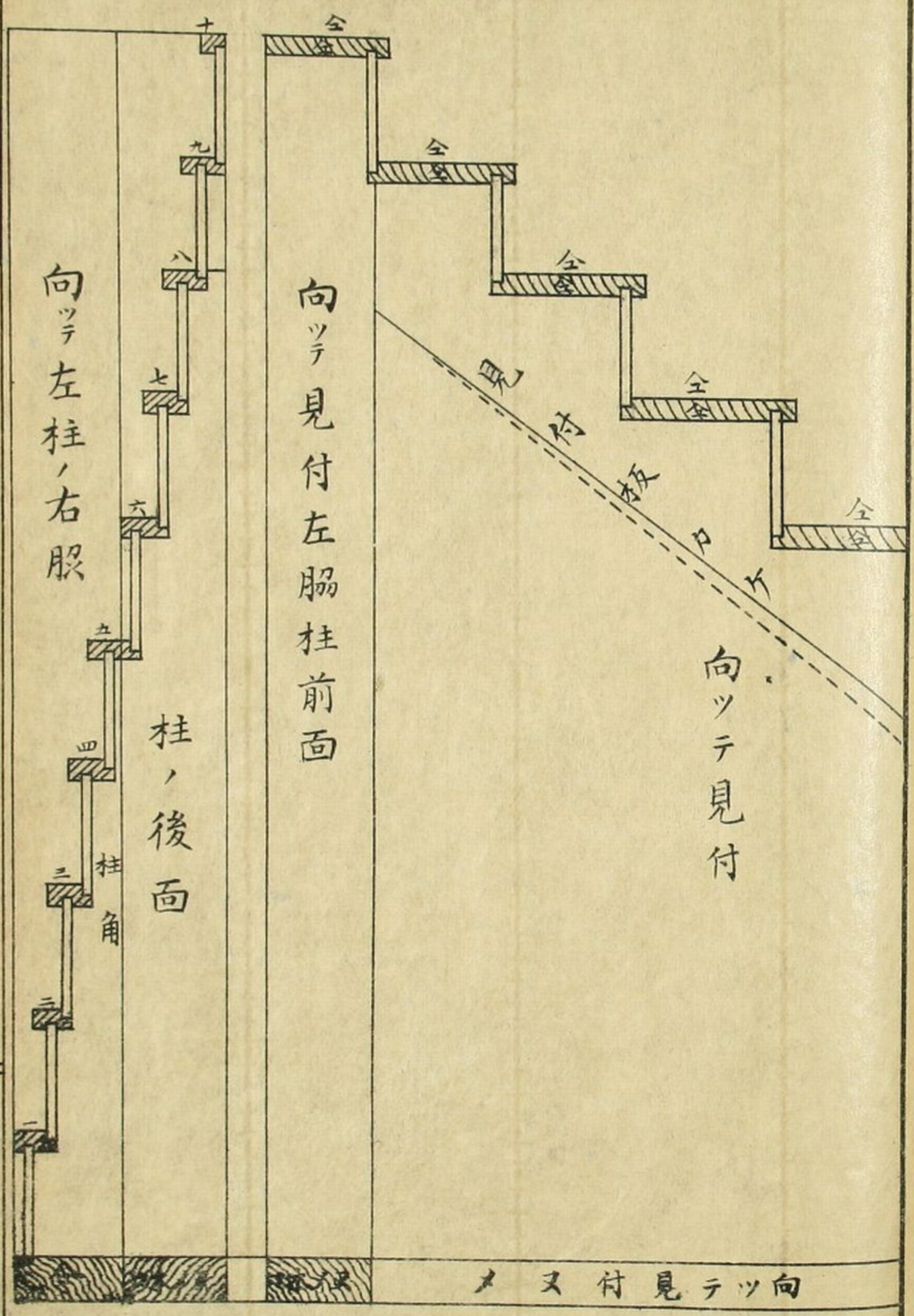
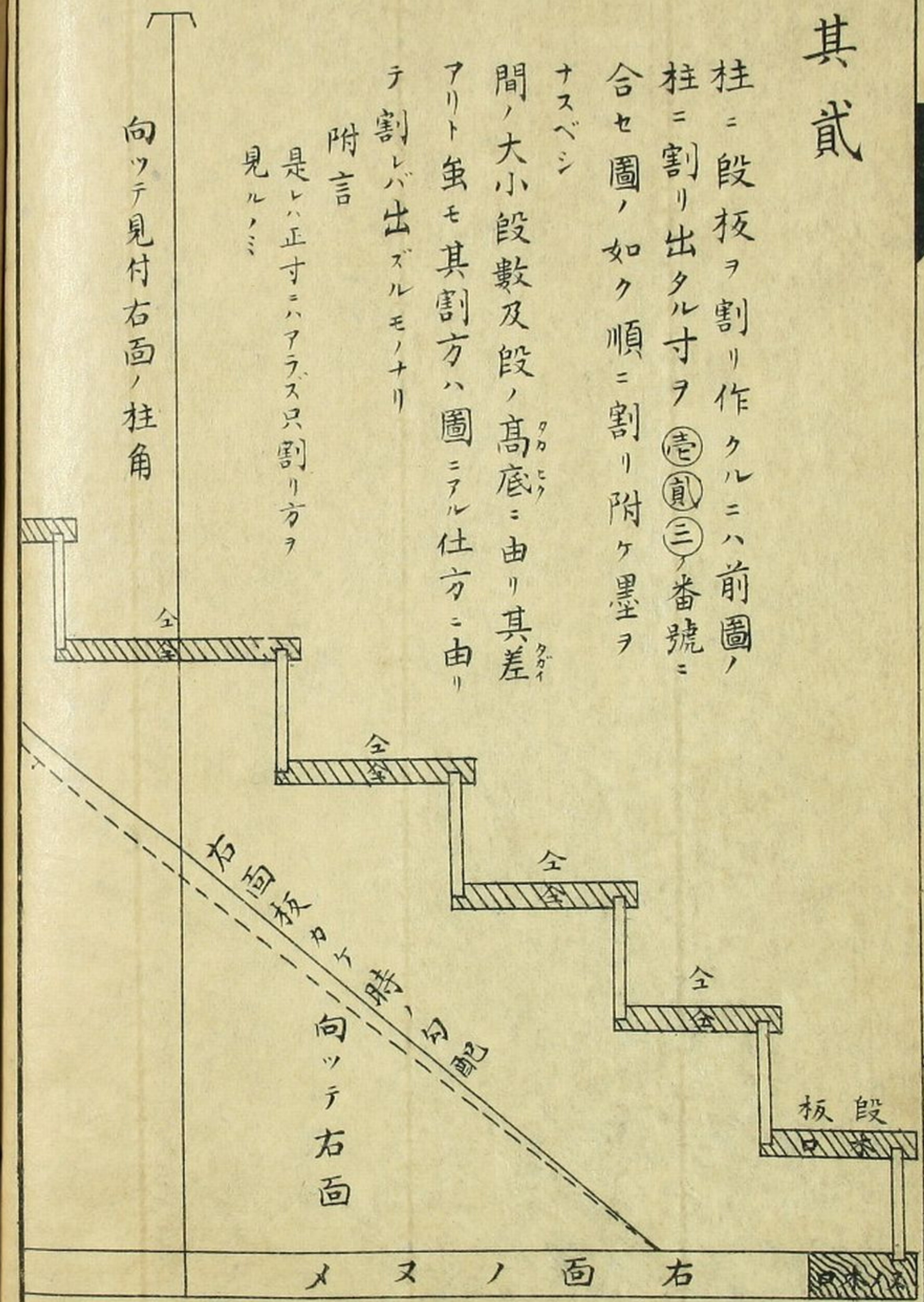
柱ニ段板ヲ割リ作クルニハ前圖ノ柱ニ割リ出タル寸ヲ(壹)(貳)(三)番號ニ合セ圖ノ如ク順ニ割リ附ケ墨ヲナスベシ

間ノ大小段數及段ノ高底ニ由リ其差アリト雖モ其割方ハ圖ニアル仕方ニ由リテ割レハ出ズルモノナリ

附言

是レハ正寸ニハアラス只割リ方ヲ見ルノミ

向ッテ見付右面ノ柱角



向ッテ左柱ノ右脇

向ッテ見付左脇柱前面

柱ノ後面

向ッテ見付

メ又付見テッ向

三方廻り階段墨仕様

第五

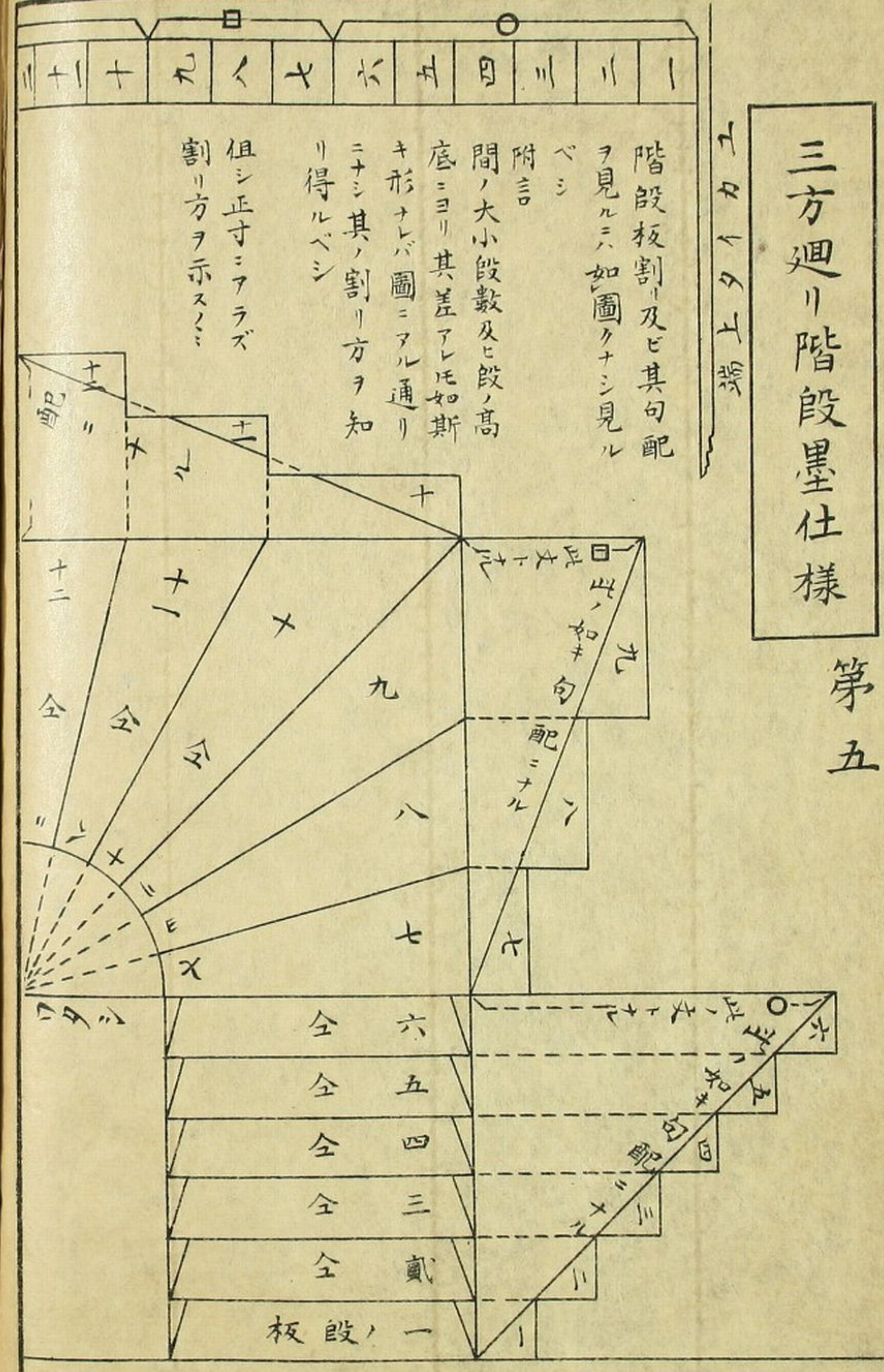
エカイタ上端

階段板割及ビ其句配
ヲ見ルニ如圖クナシ見ル
ベシ

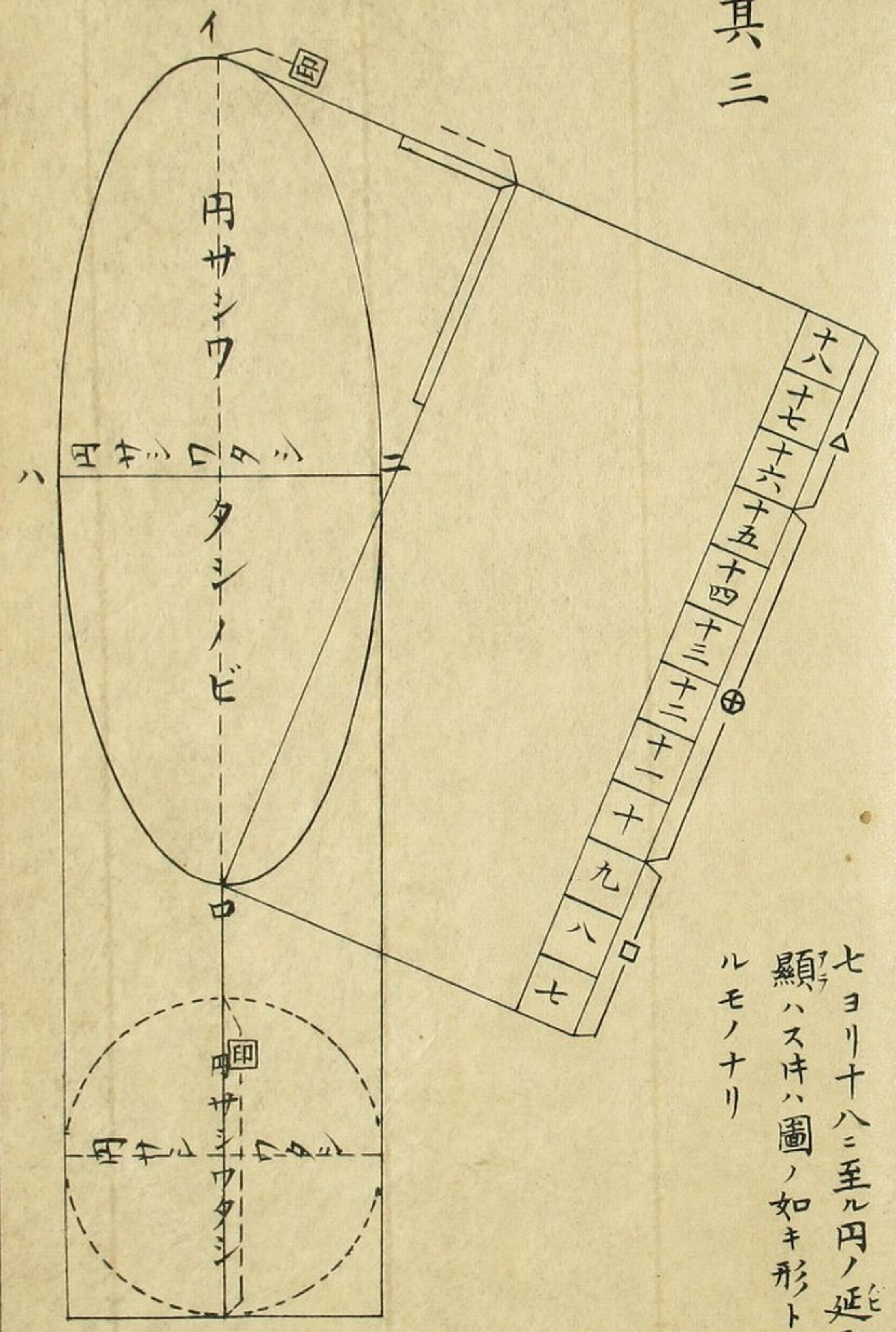
附言

間ノ大小段數及ビ段ノ高
底ニヨリ其差アレ如斯
キ形ナレバ圖ニナル通り
ニナシ其ノ割リ方ヲ知
リ得ルベシ

但シ正寸ニアラズ
割リ方ヲ示ス



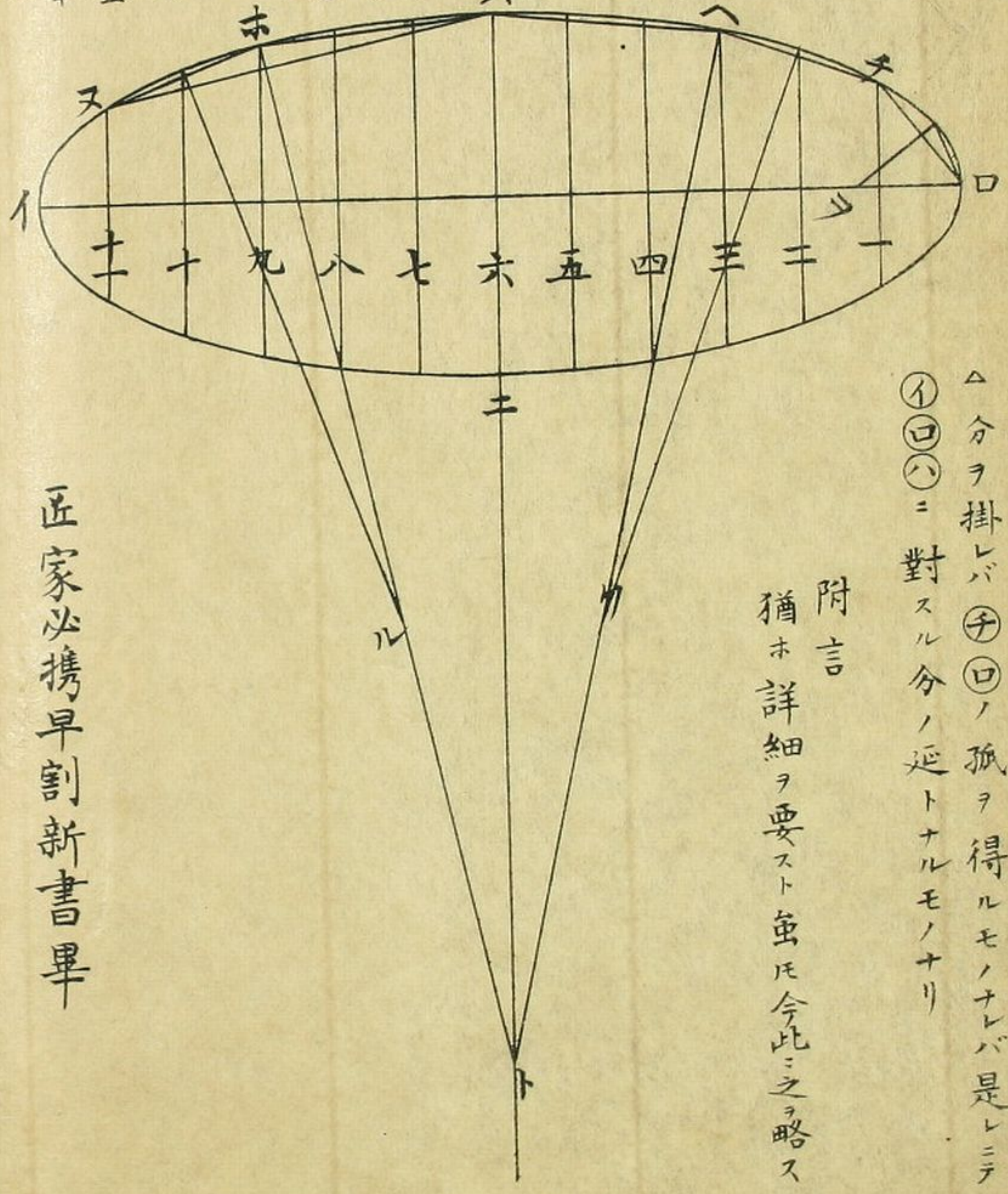
其三



七ヨリ十八ニ至ル内ノ延ヲ
顯ハス中ハ圖ノ如キ形トナ
ルモノナリ

其四

圓ノ延ニ分廻シテ掛
ケ合スルニハ圖ノ如ク
ハニ、線ヲト迄引
通シトヲ中心トシテ
分テ掛ケレバホヨリハ
迄ノ孤ヲ得テヨリハ
ニ線ヲ引キニツニ割リ
線ヨリ尺金ノ手ニリ迄ハ
ノ墨ヲ引キヲロシ①ヲ中
心トシテ分テ掛レバ②ヲ孤
得③ヨリ④迄、線ヲ引キ
ニツニ割尺金ノ手ニテ⑤迄
ノ墨ヲ引キヲロシ⑥ヲ
中心トシテ分テ掛レバ⑦
孤ヲ得⑧ヨリ⑨迄、線
ヲ引キニツニ割リ線金
ヲ合セ⑩迄墨ヲ引キ
下シ⑪中心トシテ△



△分テ掛レバ④⑤ノ孤ヲ得ルモノナレバ是レニテ
①②③ニ對スル分ノ延トナルモノナリ

附言
猶ホ詳細ヲ要スト虫氏今此ニ之ヲ略ス

匠家必携早割新書畢

右楷段割様ハ間ノ高底廣狹ニ依テ段數及高配ノ相違有

ト雖モ爰ニ著シタルモノハ只其割方ノミヲシルシタル者勿論總

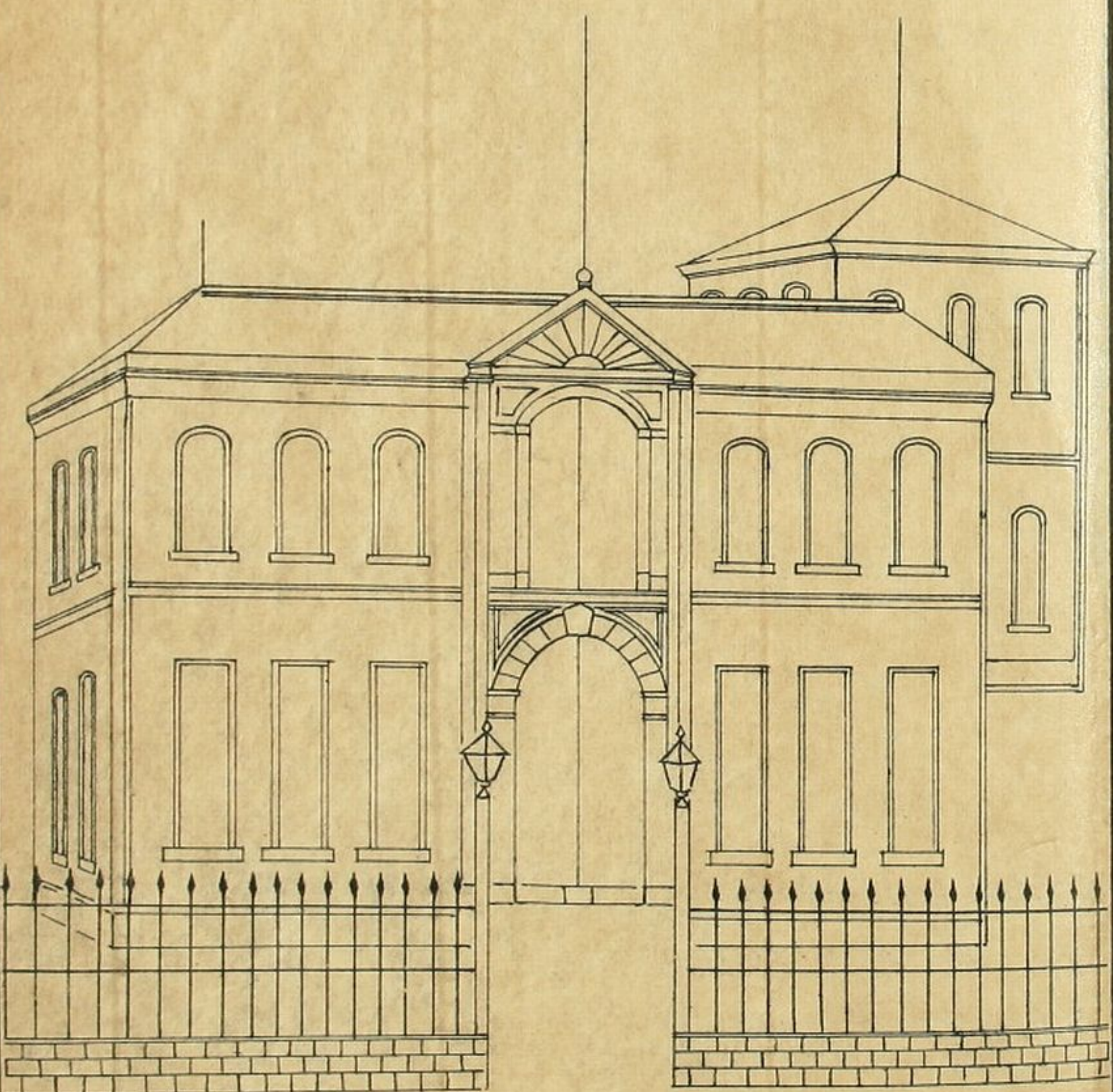
テ本編ニ相用ヒタル文字或ハ言葉遣ニ相違有ルト云ハ是則チ番

匠通常ニ用ヒ易キ言葉遣ヲ其儘相用ルモノナリ

附 左ニ西洋ノ建家二三有リ是正寸ノ者ニアラス參考ノ

爲メ只其形ヲ繪書タル者也

洋風二階正建面似圖

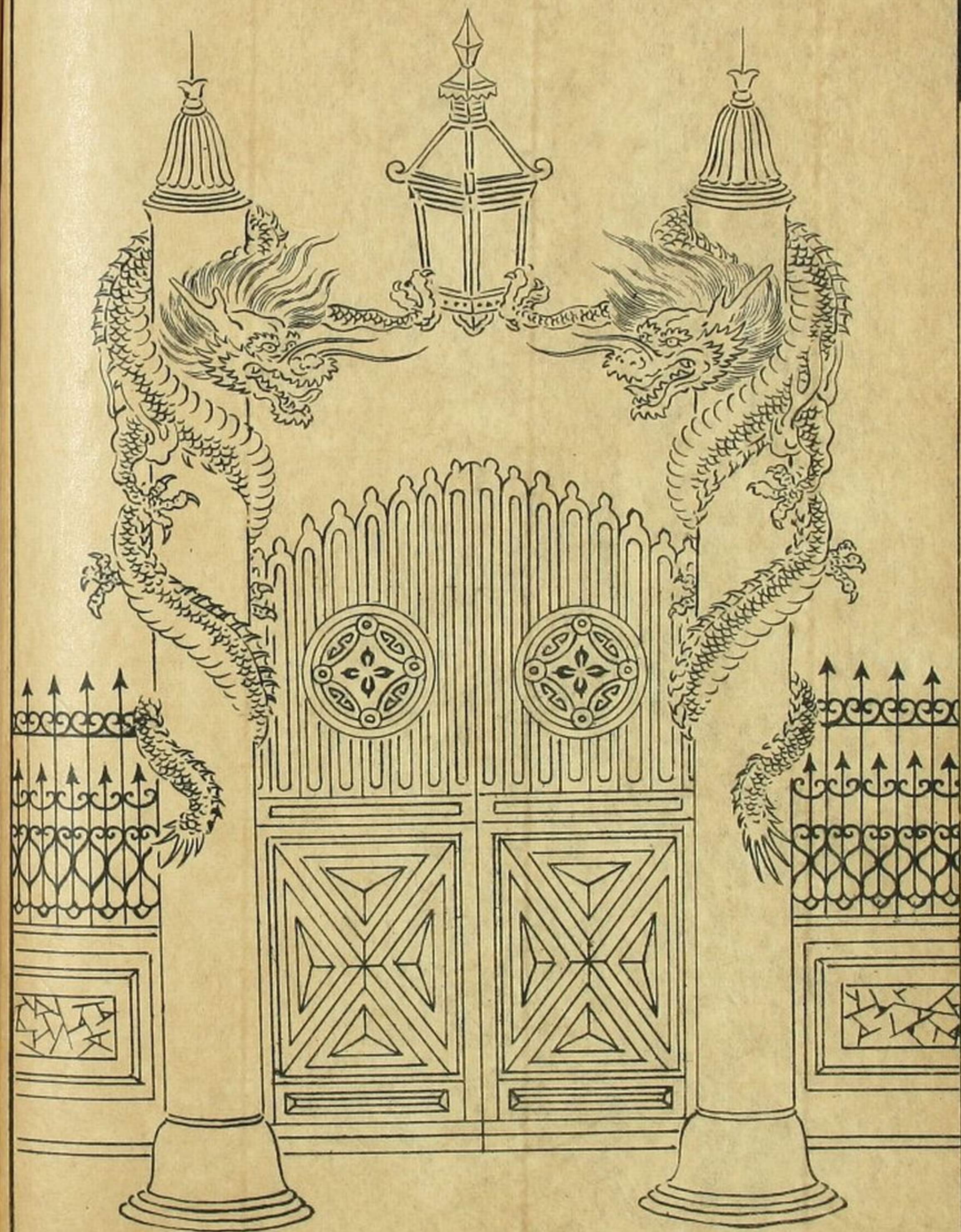


正家必集早創新書

下卷

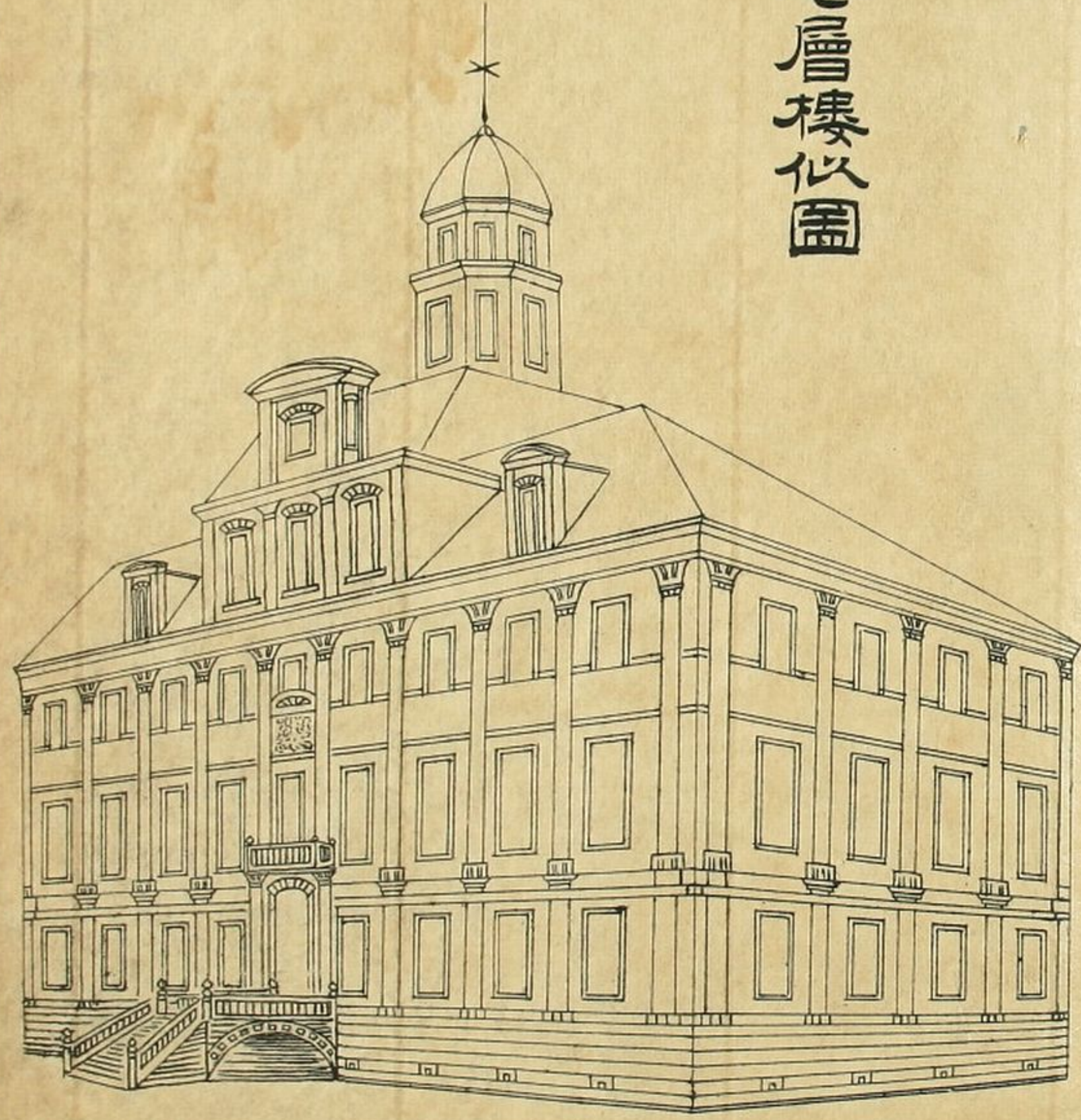
十四

洋式鐵門似圖

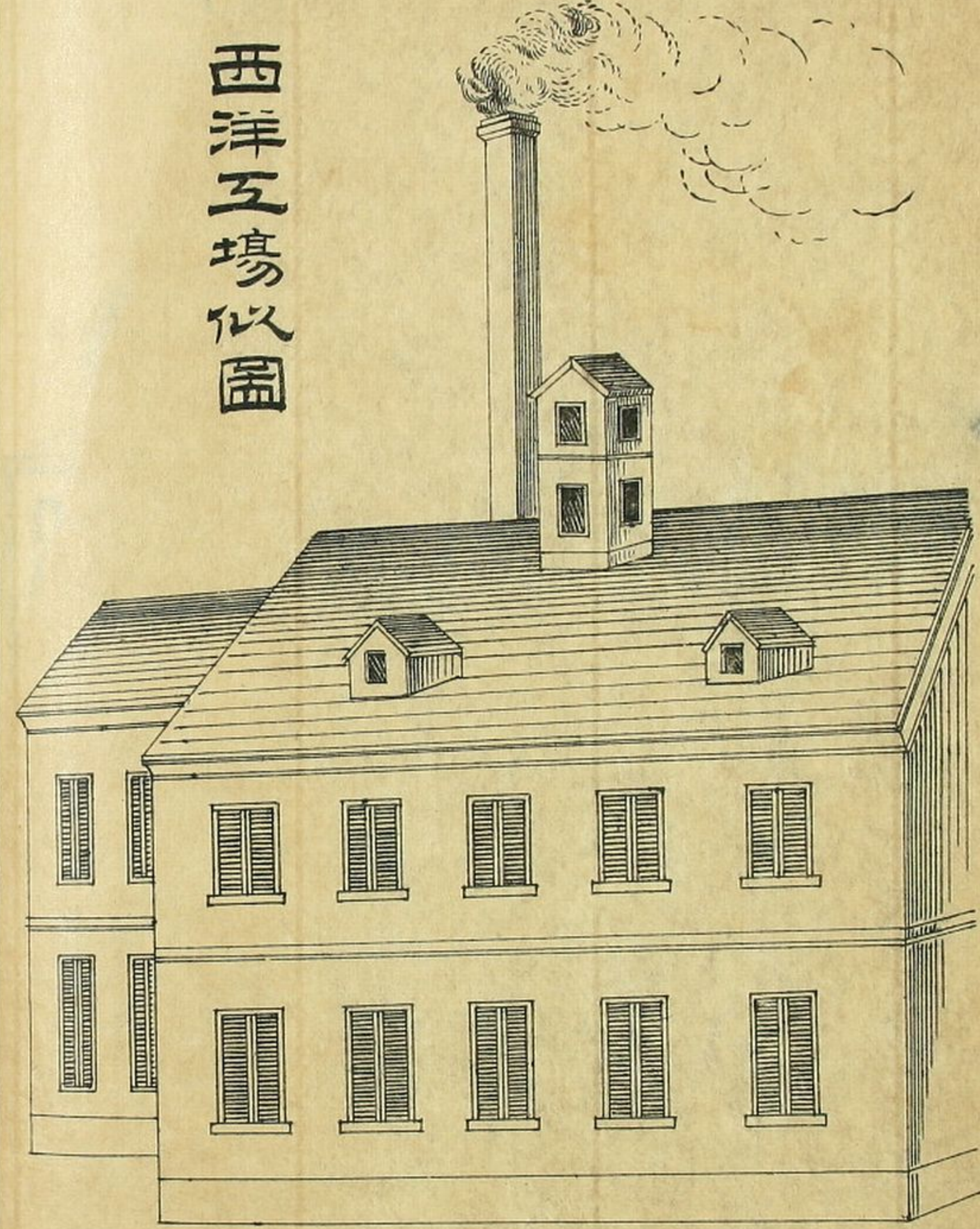


正家必集早創新書

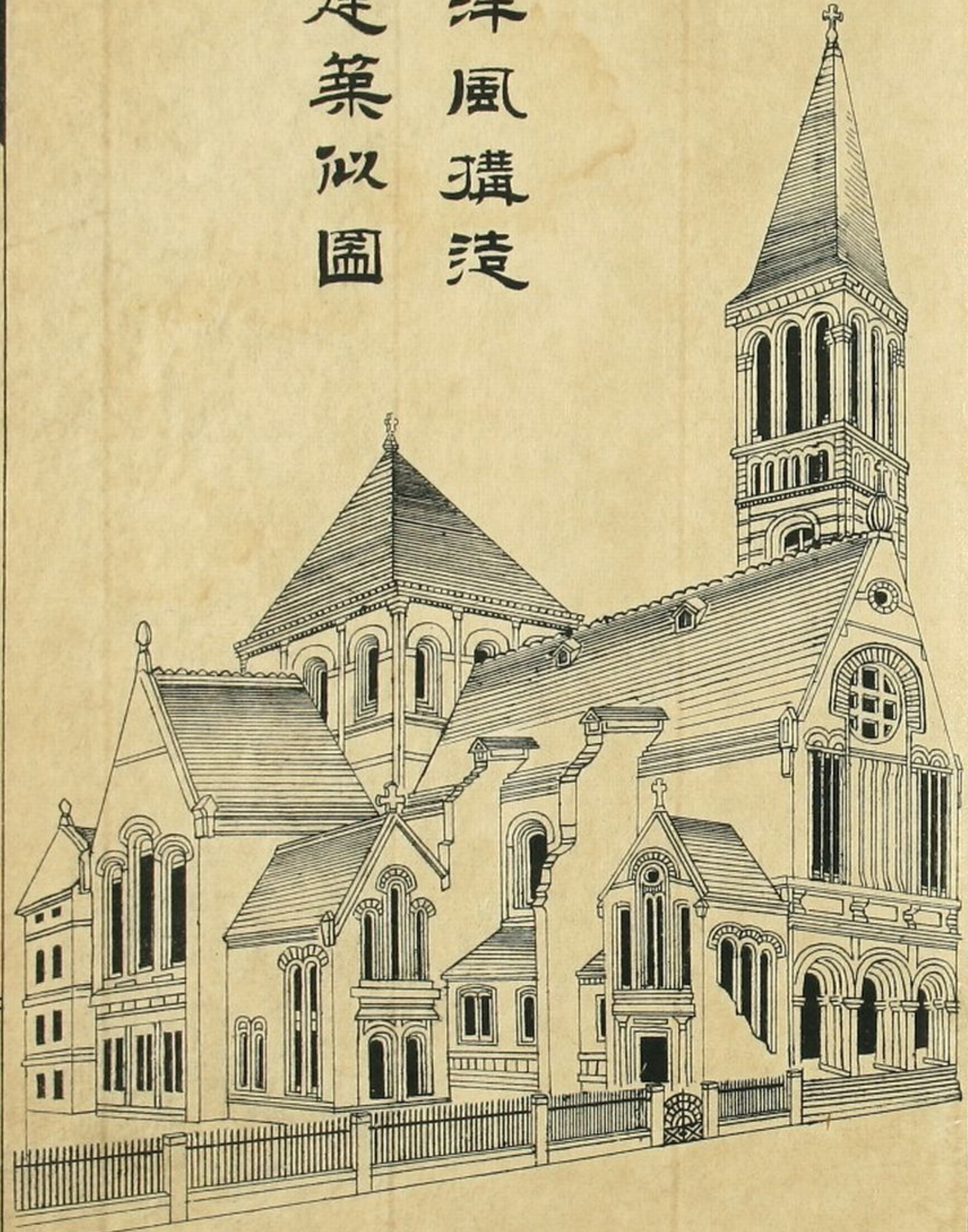
洋風七層樓似圖



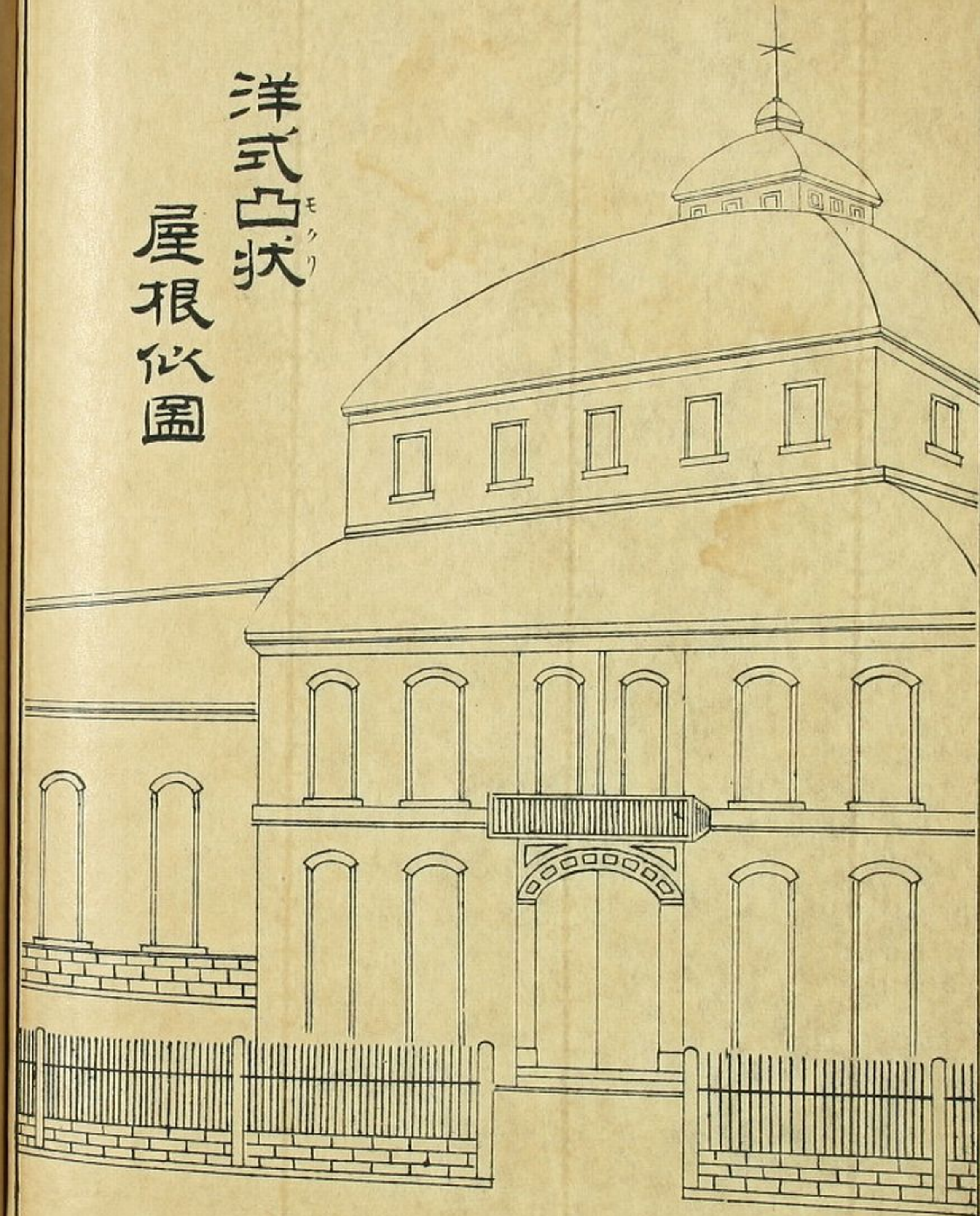
西洋工場似圖



洋風構造
建築似圖

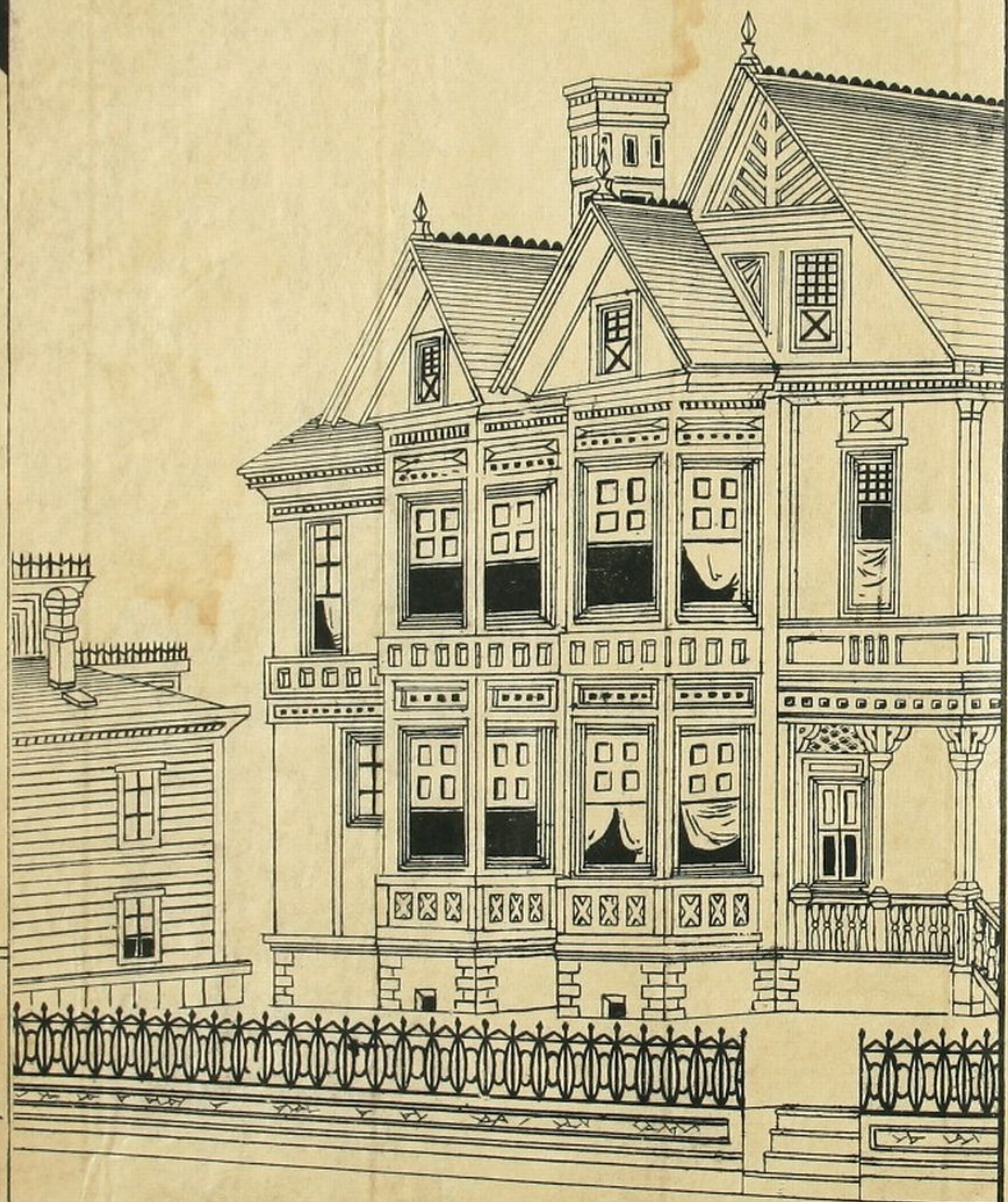


洋式凸状
屋根似圖



匠家必携早書新書

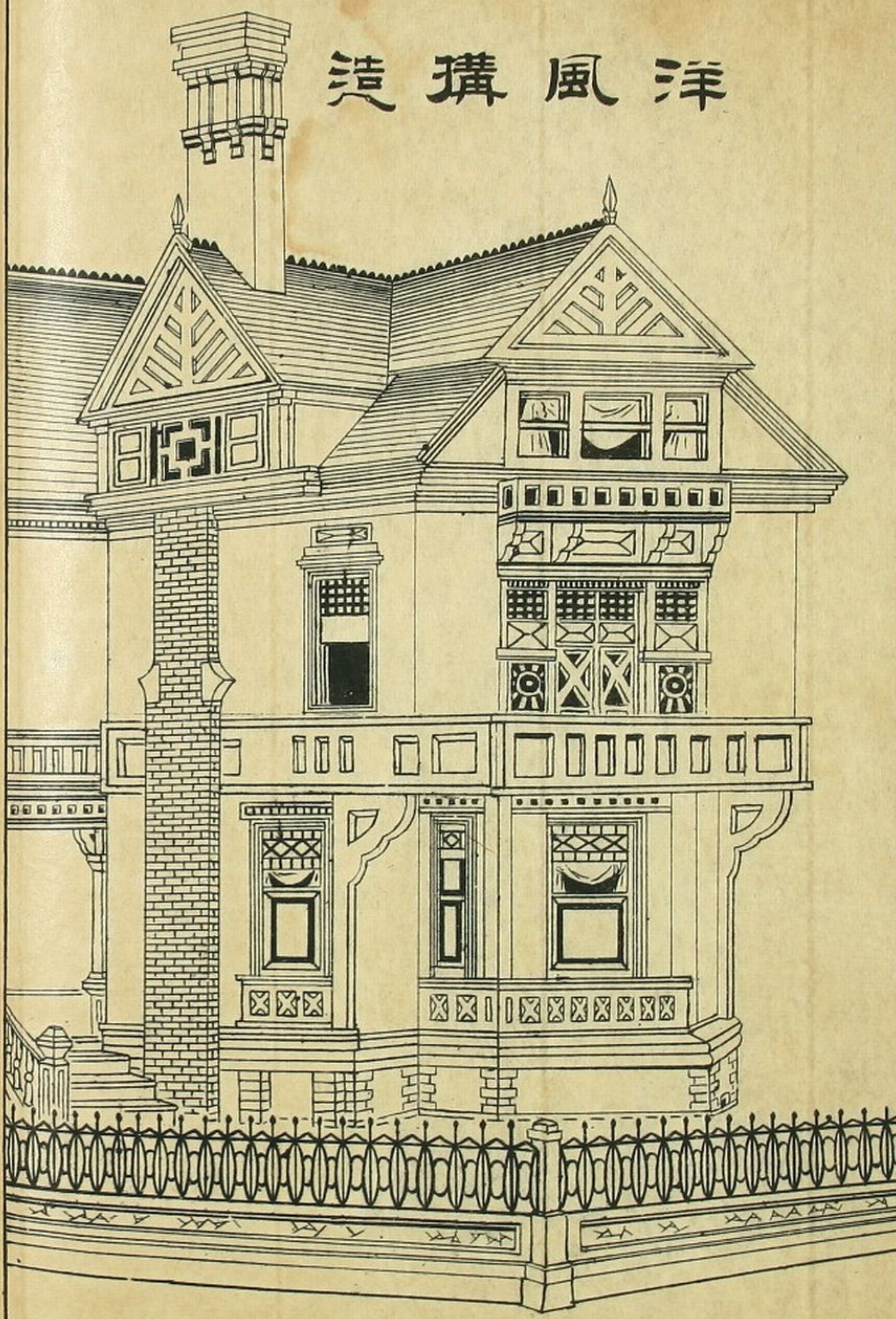
建築似圖



下卷十七

下卷十七

洋風構造



西家必打巨害身言

西家少打旦書

明治三十三年九月廿四日印刷

明治三十三年九月廿八日發行御届

三册定價金六十錢

東京市京橋區南小田原町三丁目四番地

著者兼發行者

田中玉四郎



全市京橋區南小田原町三丁目拾番地

印刷者

香山秀吉



東京市日本橋區通二丁目

特約大販賣所 須原屋茂兵衛



販賣書林

東京市淺草區茅町二丁目五番地	全市日本橋區通三丁目	西京	大阪東區博勞町四丁目	全市全町	全市本町	名古屋市中區玉屋町	駿州岩淵	新潟縣新潟市	長野縣長野市
松成保太郎	林平次郎	田中次兵衛	青木恒三郎	中川勘助	岡嶋直七	片野東四郎	山本宗十郎	吉川成造	西澤喜太郎
山梨縣甲府市	石川縣金澤市	富山縣富山市	神奈川縣橫濱市	栃木縣宇都宮市	神奈川縣小田原市	佐賀縣佐賀市	静岡縣静岡市	取鳥縣取鳥市	熊本市
内藤傳右衛門	近岡屋太平	守川吉兵衛	吉川伊兵衛	津久井潛藏	米屋忠兵衛	熊本吉造	浪花屋市造	横山安次郎	長崎長崎市

